

ビデオ教材（映像コンテンツ）の教育利用に関する定点調査報告書〈2014年〉

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>

目 次

1. 調査概要	3
2. まとめ	4
3. 本調査結果のポイント	5
4. 定点調査結果	7
5. アンケート調査結果 GTグラフ.....	2 5
クロス表	4 2

1. 調査概要

調査概要

- 調査目的** : 教育現場におけるビデオ教材（映像コンテンツ）の利活用状況を調査し、2012年に実施した同調査結果と比較した定点観測により傾向を把握する。
- 調査期間** : 2014年9月11日(木)～9月12日(金)
- 調査方法** : Webアンケート方式
- 調査地区** : 全国
- 調査対象** : 小学校・中学校・高校、大学・大学院、専門学校、予備校・学習塾の教職員、経営者計118名

回答者属性

- 性別内訳** : 男性(71.2%)、女性(28.8%)
- 年代別内訳** : 20～29歳(9.3%)、30～39歳(17.8%)、40～49歳(28.0%)、50～59歳(44.9%)
- 学校内訳（勤務先）** : 小学校(1.7%)、中学校(0.8%)、高校(17.8%)、大学・大学院(29.7%)、専門学校(11.0%)、予備校・学習塾(39.0%)

調査項目

1. ビデオ教材（映像コンテンツ）の学校での活用経験
2. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の内容
3. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の活用方法
4. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の作成者
5. ビデオ教材（映像コンテンツ）の利用意欲
6. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のメリット
7. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のデメリット
8. 動画コンテンツサービス「iTunes U」「Youtube for Schools」の利用意欲

2. まとめ

eラーニング戦略研究所は、2012年に実施した「ビデオ教材（映像コンテンツ）の教育利用に関するアンケート調査」の定点調査として、同内容のアンケート調査を2014年9月に実施、小中高、大学・大学院、専門学校、予備校・学習塾の教職員・経営者を対象に、動画コンテンツの利活用状況や時系列変化を調べました（有効回答数118）。

その結果、**回答者の半数が「動画コンテンツを教育利用したことがある」と回答**しました。内訳は、「講義・授業内容の活用」が最多で76.3%、次いで「ニュース・参考映像」など既存の映像の活用や「専門技術やPCの操作方法等」の映像化も増えています。

また、「**動画コンテンツを今後活用したい**」は**約8割**に達し、教育関係者の多くが動画コンテンツの教育利用にきわめて前向きであることが明らかとなりました。Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」等の動画コンテンツサービスについても6割以上が「利用してみたい」と回答、2012年に比べて関心度が高まっています。

82.2%が「わかりやすく学習効果が高い」、58.5%が「学習意欲が上がる」と評価した動画コンテンツ。一方で「**教材作成にかかる時間とコスト**」を**デメリットと捉える人が2012年よりも11%増加**しています。実際に、学校で利用されている動画の約半数は教職員により内製されていますが、その割合は減少傾向にあり、学習効果の高い動画教材を作成したい一方、時間・コスト面で負担が大きい現場の問題が浮き彫りとなった形です。また、「種類が豊富で選択できるようになると良い」「検索のし易さ」「準備が簡単なもの」など、コンテンツの充実や利用のし易さなどを求める声も多く聞かれました。

「動画活用教育への理解・認識不足」「学生の反応・理解度がわかりづらい」といったマイナスイメージは2012年より大きくポイントを下げ、教育現場における動画コンテンツの活用が確実に広がっていることが明らかとなった今回のアンケート。今後はより幅広く質の高い、かつ誰にでも扱いやすい動画教材の充実や、簡単に教材作成ができる仕組み、検索や動画教材の組み合わせが容易にできるジャンル別のデータベース構築など、さらなる進化が待たれます。

3. 本調査結果にみるポイント

■ 「動画コンテンツを教育利用したことがある」は5割、「今後活用したい」は8割。

教育現場で動画コンテンツを活用したことがあると答えたのは、全体の50%。

「今後活用したい」「どちらかと言えば活用したい」は78.8%で、動画コンテンツの教育利用に前向きな傾向。動画コンテンツの活用経験者は、未経験者に比べ今後の利用意欲も高い。

■ もっとも活用されているコンテンツは「講義・授業動画」。半数が教職員による内製。

学校で利用されている動画コンテンツの内訳は、「講義・授業内容」の映像コンテンツ化が76.3%で最多。

「ニュース・参考映像」など既存の映像コンテンツの活用や、「専門技術やPCの操作方法等」の映像化も増加。動画コンテンツの半数が教職員による内製、3割が市販の動画コンテンツを利用、もっともコストがかかる外部業者への依頼は2割に満たないがやや増加。

■ 8割が「わかりやすく学習効果が高い」と評価、前回調査より6.8%増加。

最大のデメリットは「教材作成にかかる時間・コスト」で前回調査より11%増加。

82.2%が動画コンテンツは「わかりやすく学習効果が高い」と回答。「学習意欲が上がる」も6割近く(58.5%)。最大のデメリットは「教材作成にかかる時間・コスト」67.8%で、2012年より11%増加。「動画活用教育への理解・認識不足」「学生の反応・理解度がわかりづらい」は2012年より大きく減少。

■高まる「iTunes U」「YouTube for Schools」の利用意欲、前回調査より8%増加。

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスを利用してみたいか尋ねたところ、63.5%が利用してみたいと回答。2012年より8%増加。

■コンテンツの充実、利用のし易さ、コストカットが今後のカギ。

動画コンテンツの教育利用についての要望・意見としては、「コンテンツの充実」（18%）、「利用のし易さ」（13%）、「コスト」（10%）の順となった。

具体的には、

「専門分野に近い映像資料が少ない（30代男性/大学・大学院）」

「種類が豊富で選択できるようになると良い（30代女性/小中高）」

「検索のし易さ（40代男性/小中高）」

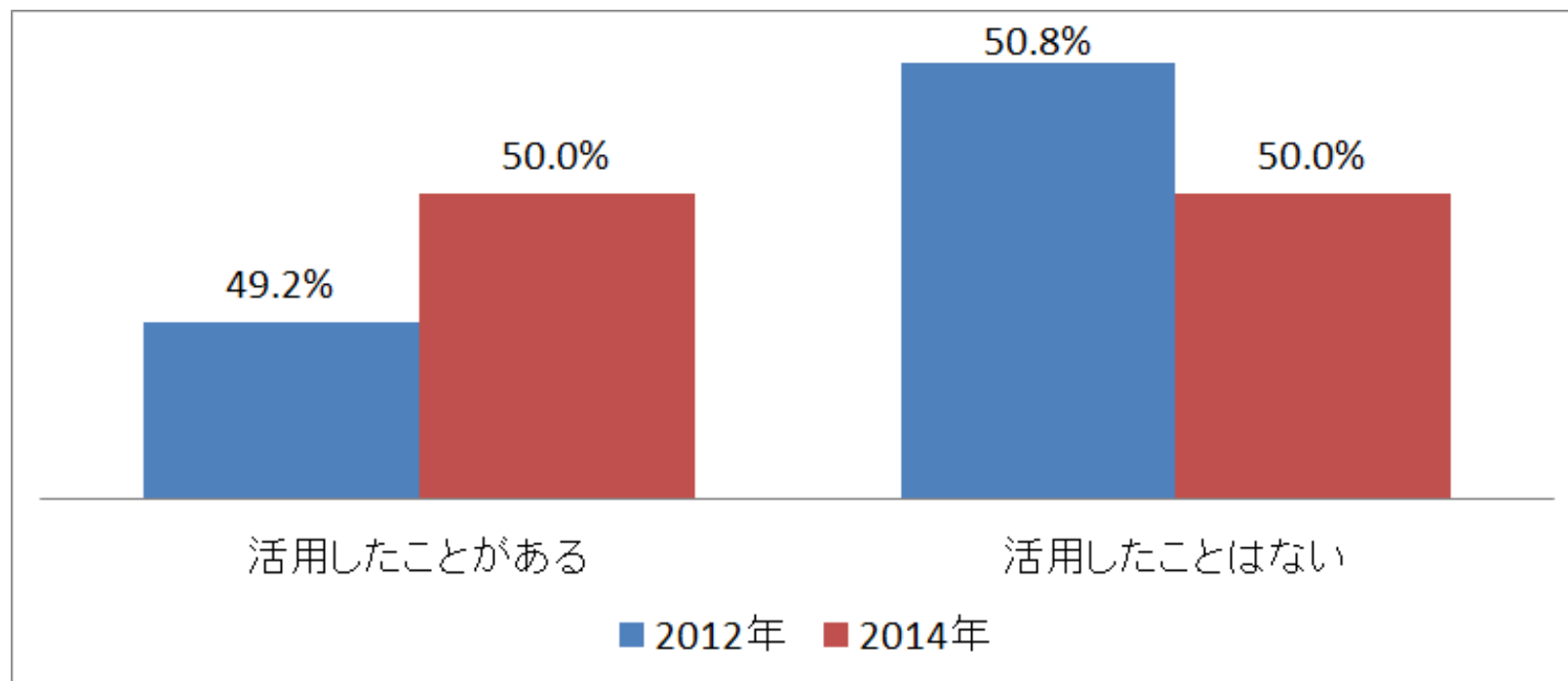
「準備が簡単なもの（50代男性/予備校・学習塾）」

「導入費用（初期コスト）を抑えれば導入する教育機関が増える（20代男性/予備校・学習塾）」など。

一方で、動画教材に期待する声も多く全体の16%を占めた。

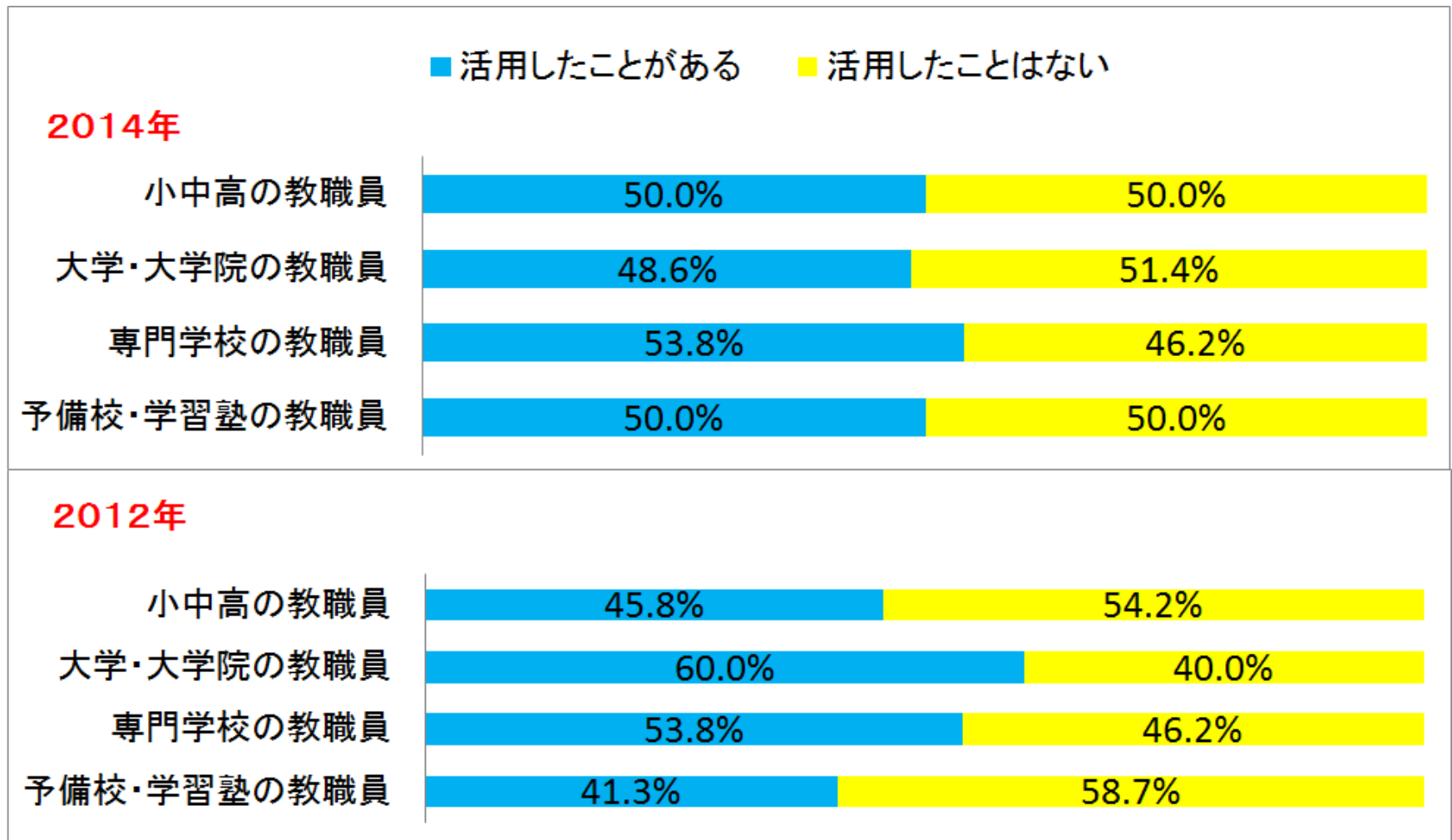
4. 定点調査結果

1. ビデオ教材（映像コンテンツ）の学校での活用経験 【時系列変化】



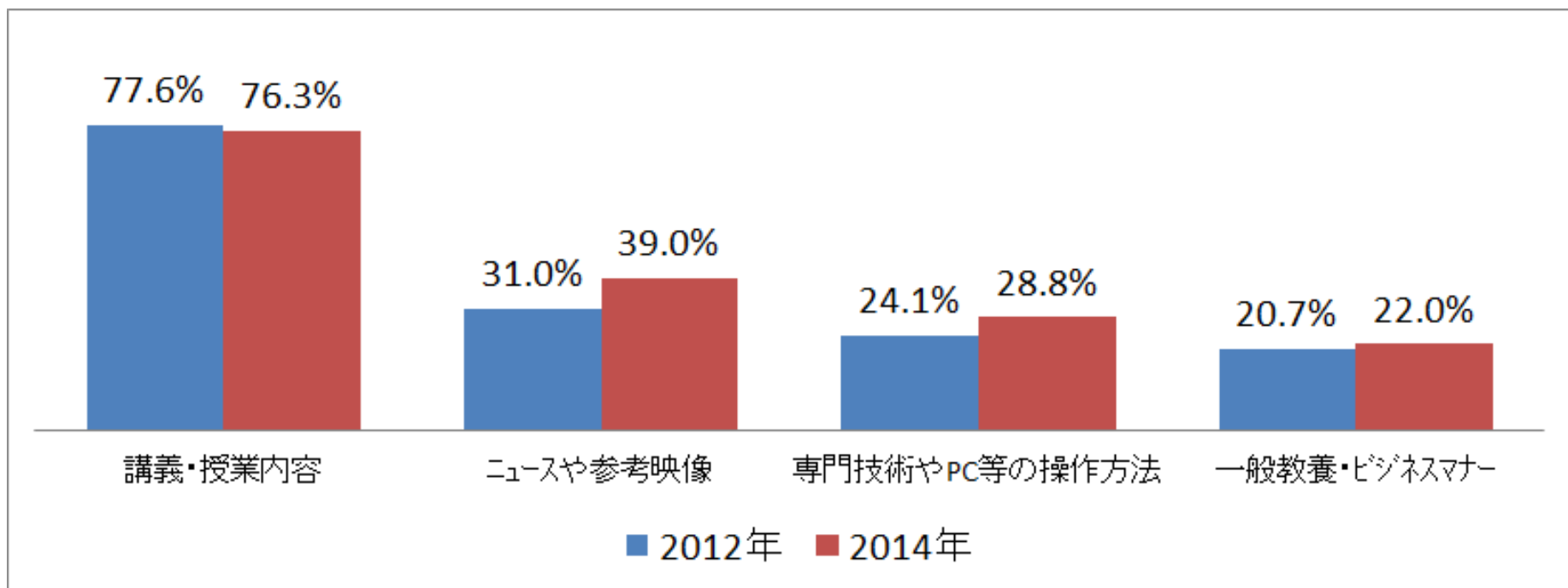
2012年に比べ、活用経験の有無は横ばい。

1. ビデオ教材（映像コンテンツ）の学校での活用経験 【学校別】



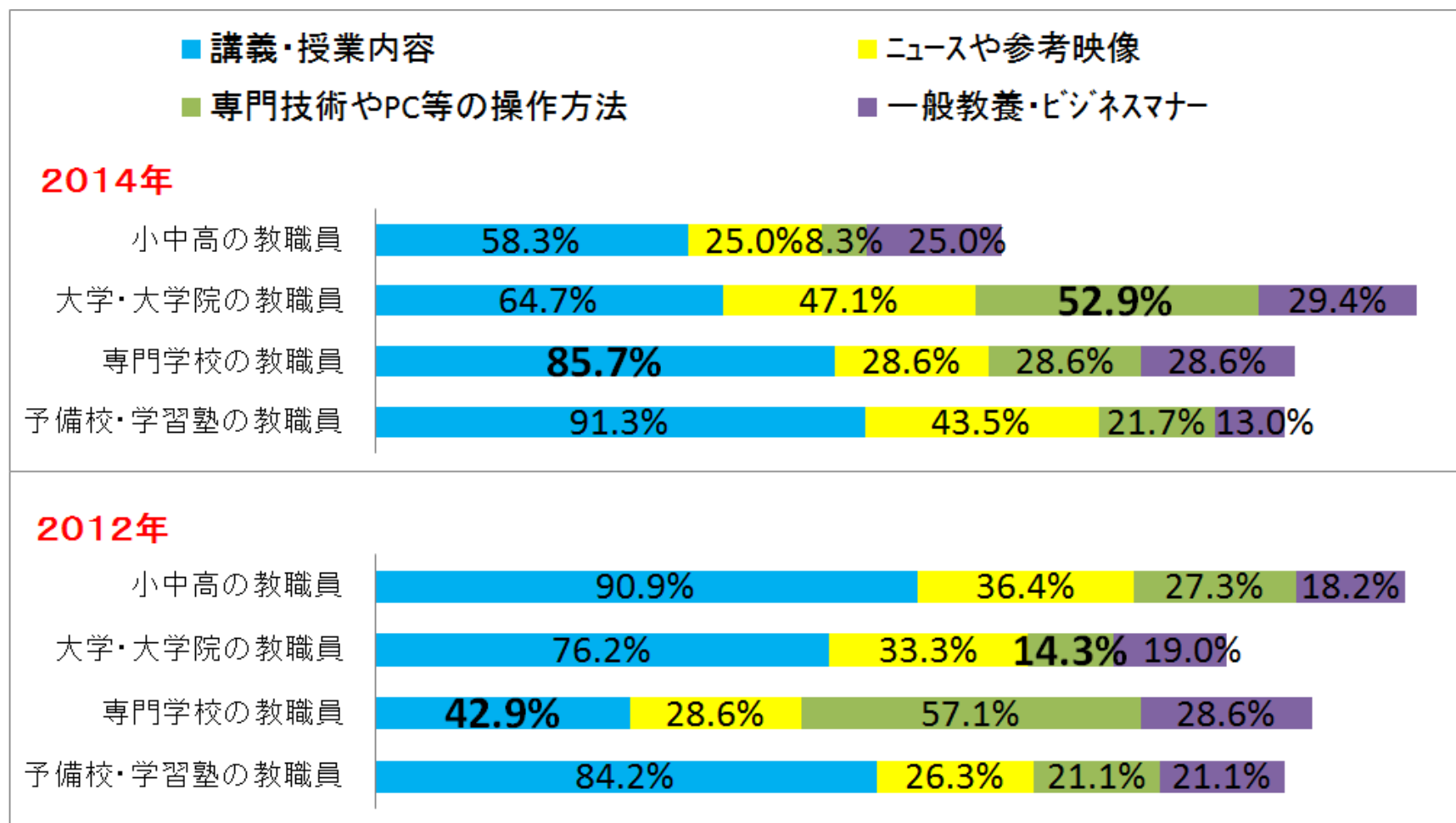
小中高、予備校・学習塾における活用が拡大。

2. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の内容 【時系列変化】



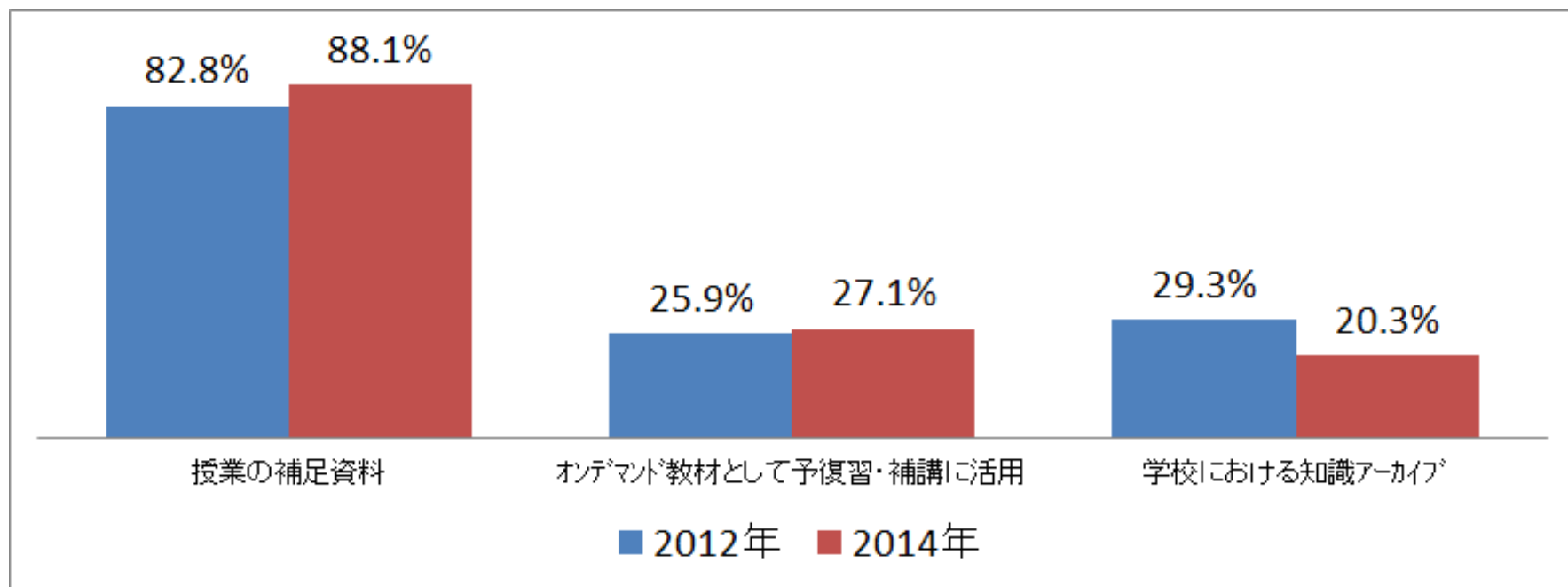
「講義・授業内容」が約8割で最多。
ニュースや参考映像など既存の映像コンテンツの活用も約4割に増加。

2. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の内容【学校別】



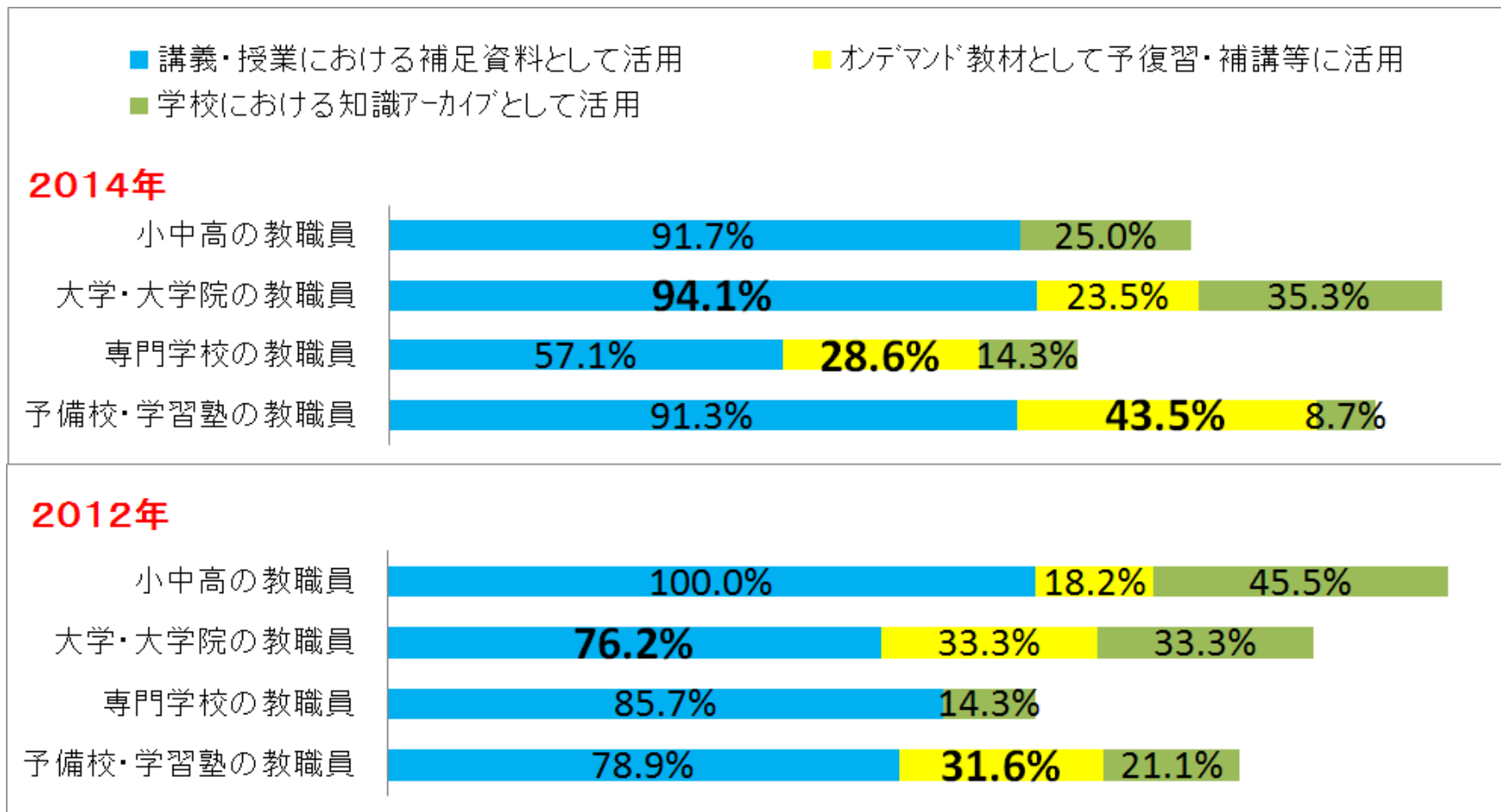
大学では専門技術等の映像コンテンツ化が増加。専門学校では授業映像の活用が拡大。

3. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の活用方法 【時系列変化】



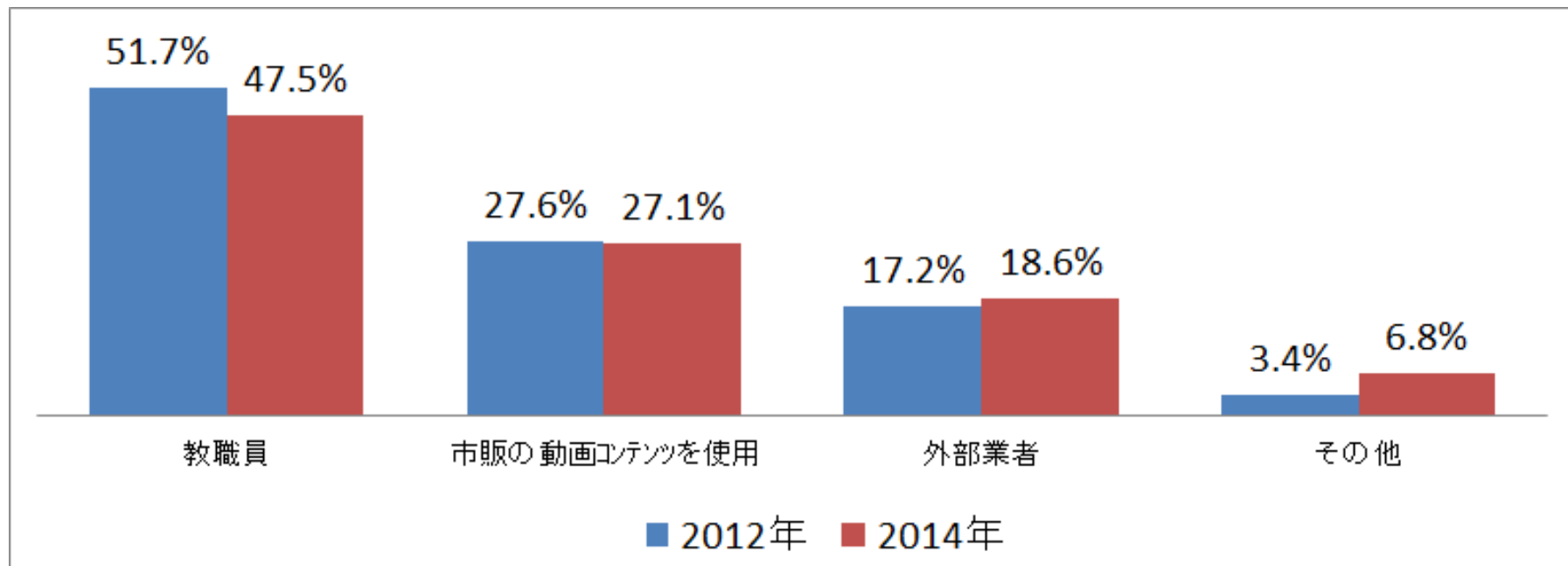
約9割が授業で活用。オンデマンド教材として授業以外での活用も伸びている。

3. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の活用方法【学校別】



大学では講義における補足的利用が増加。
専門学校・予備校・塾ではオンデマンド教材としての活用が増加。

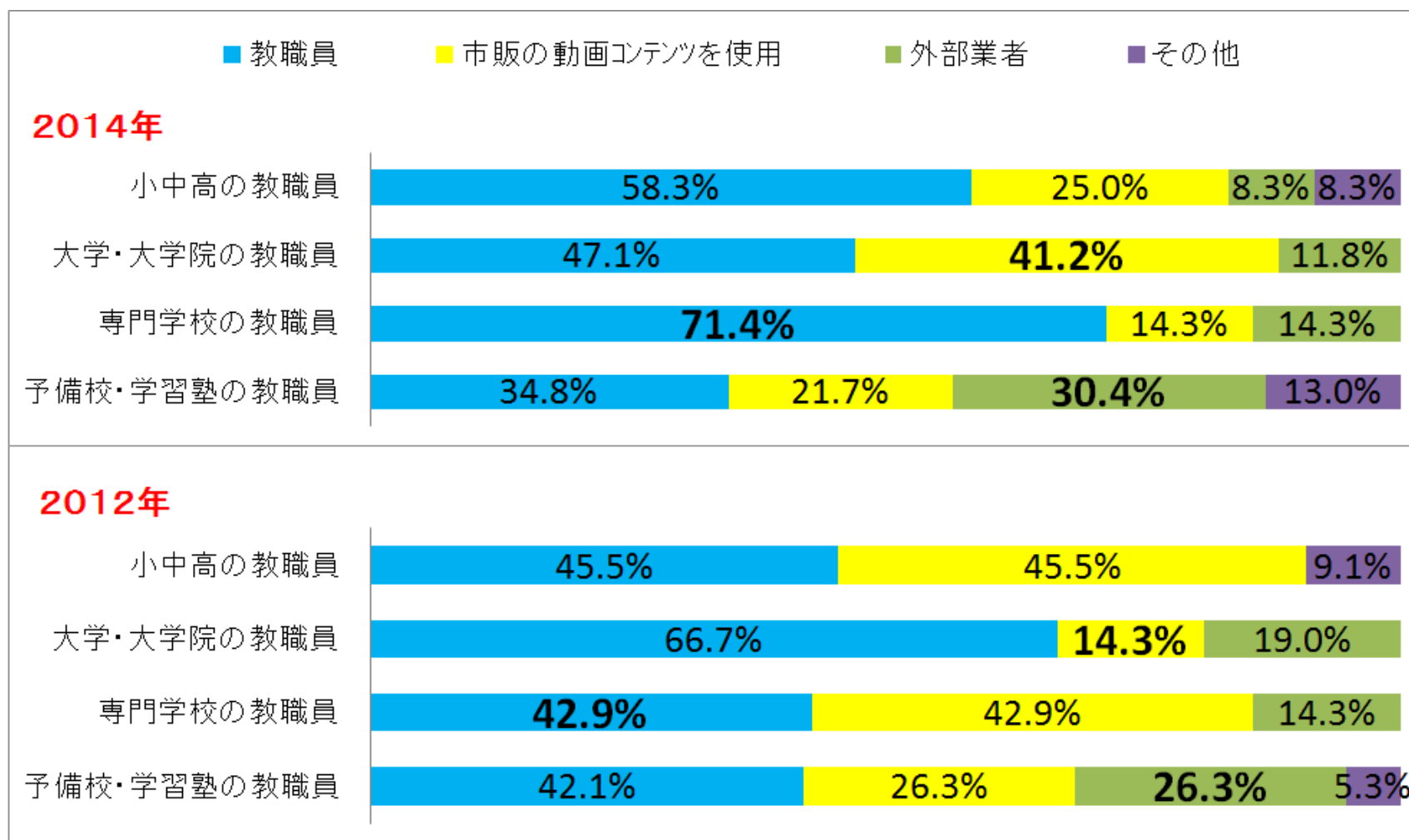
4. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の作成者【時系列変化】



その他（2014年）・・・地上波放送の録画、教務教材課、無料動画、親会社の作成

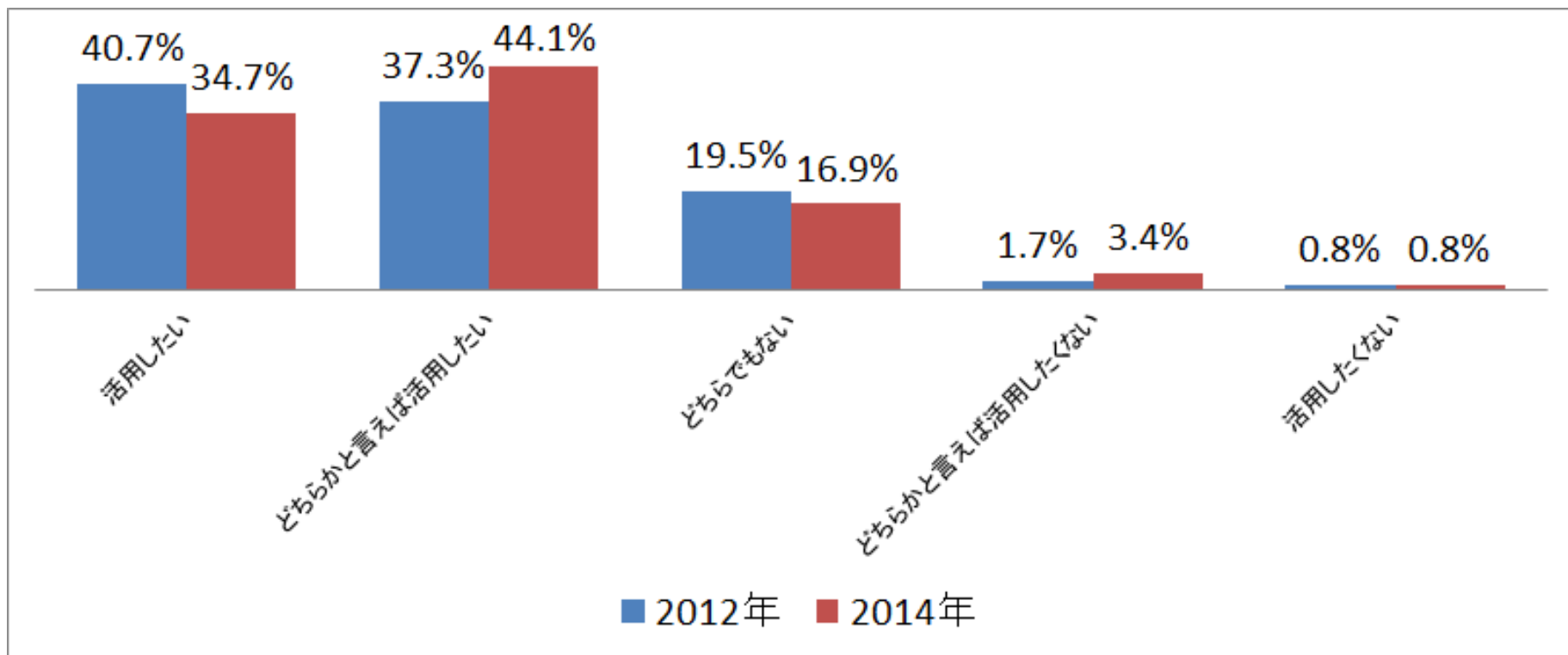
半数が教職員による内製、約3割が市販の動画コンテンツを利用。

4. 利用したビデオ教材（映像コンテンツ）の作成者【学校別】



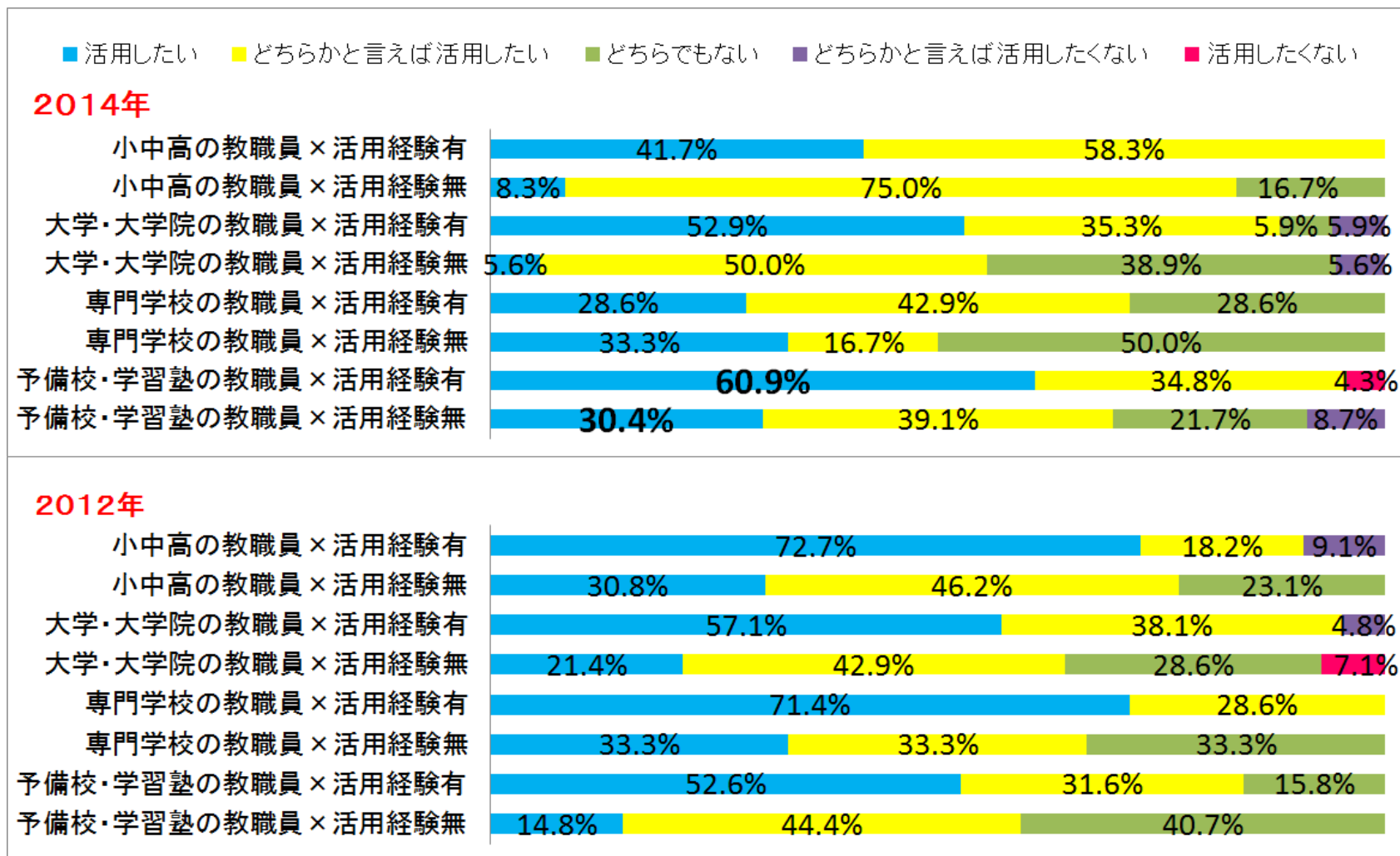
専門学校を中心に教職員による内製が多い。予備校・学習塾では外部業者への依頼も増加。

5. ビデオ教材（映像コンテンツ）の利用意欲 【時系列変化】



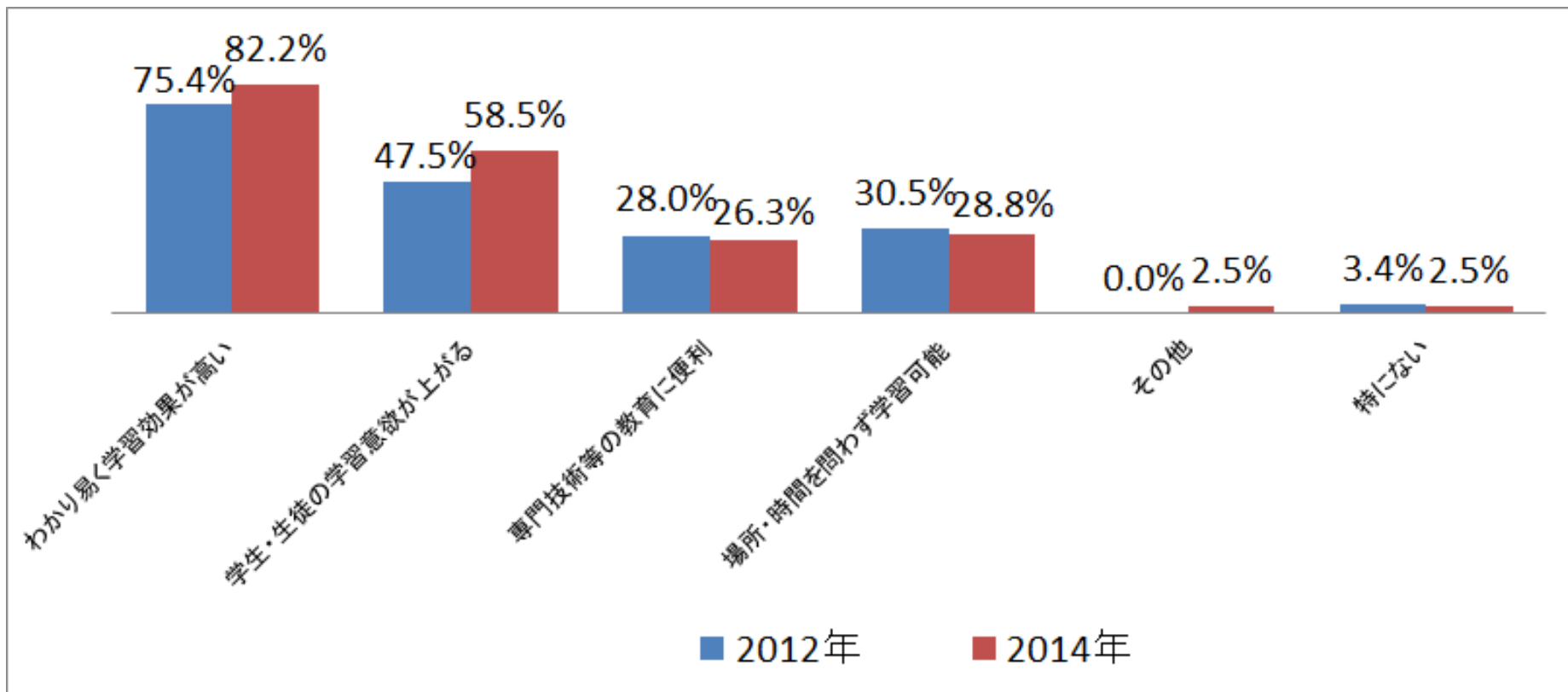
「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」が78%→78.8%で最多。

5. ビデオ教材（映像コンテンツ）の利用意欲 【学校別×活用経験別】



“活用経験有”の人は、無い人に比べ利用意欲が高い。

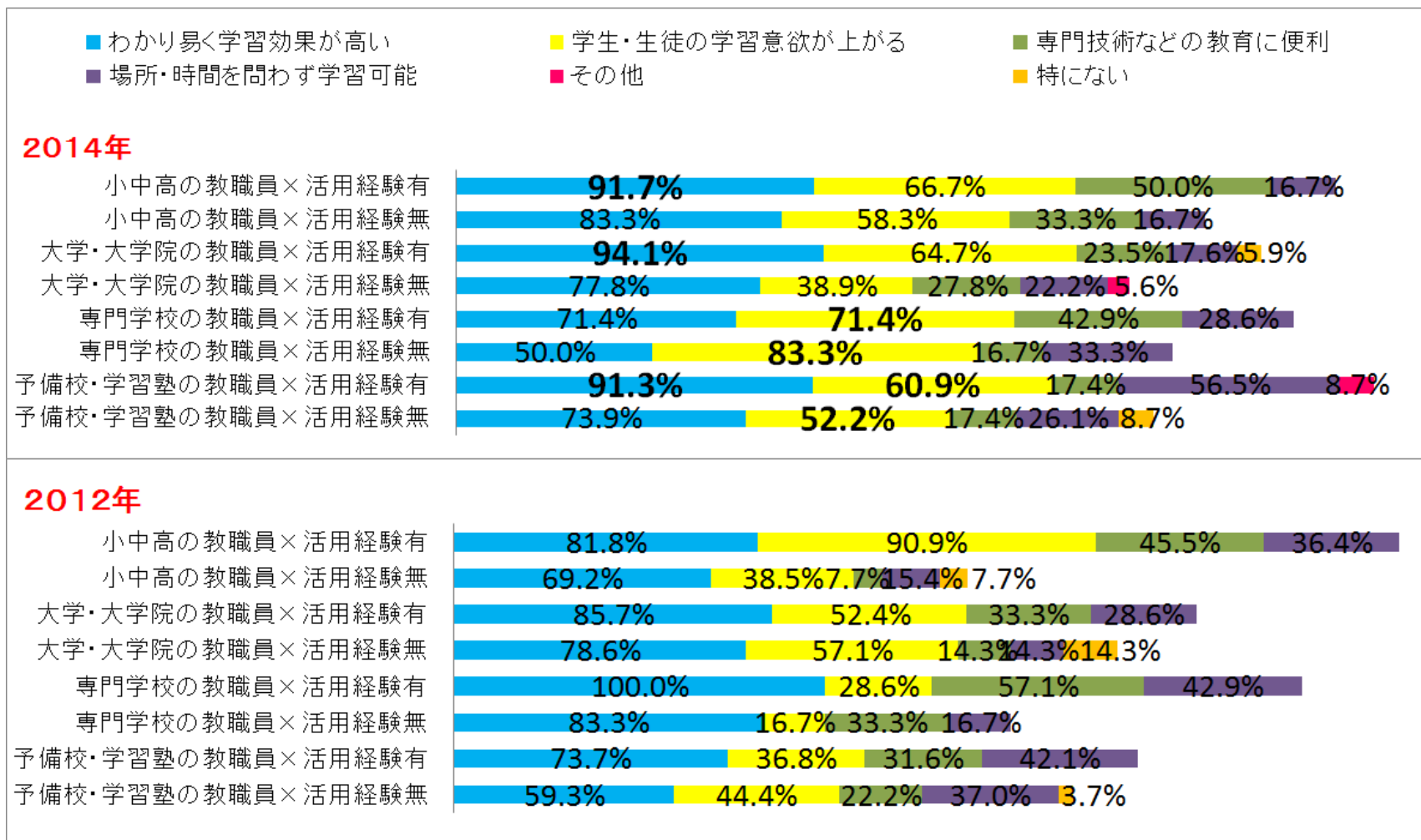
6. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のメリット 【時系列変化】



その他（2014年）・・・個々のレベルに合わせることができる、英語を指導していて英語には音声は不可欠なので、見なければイメージがわからないものの把握には便利（学習効果があるかどうかは使い方次第。）

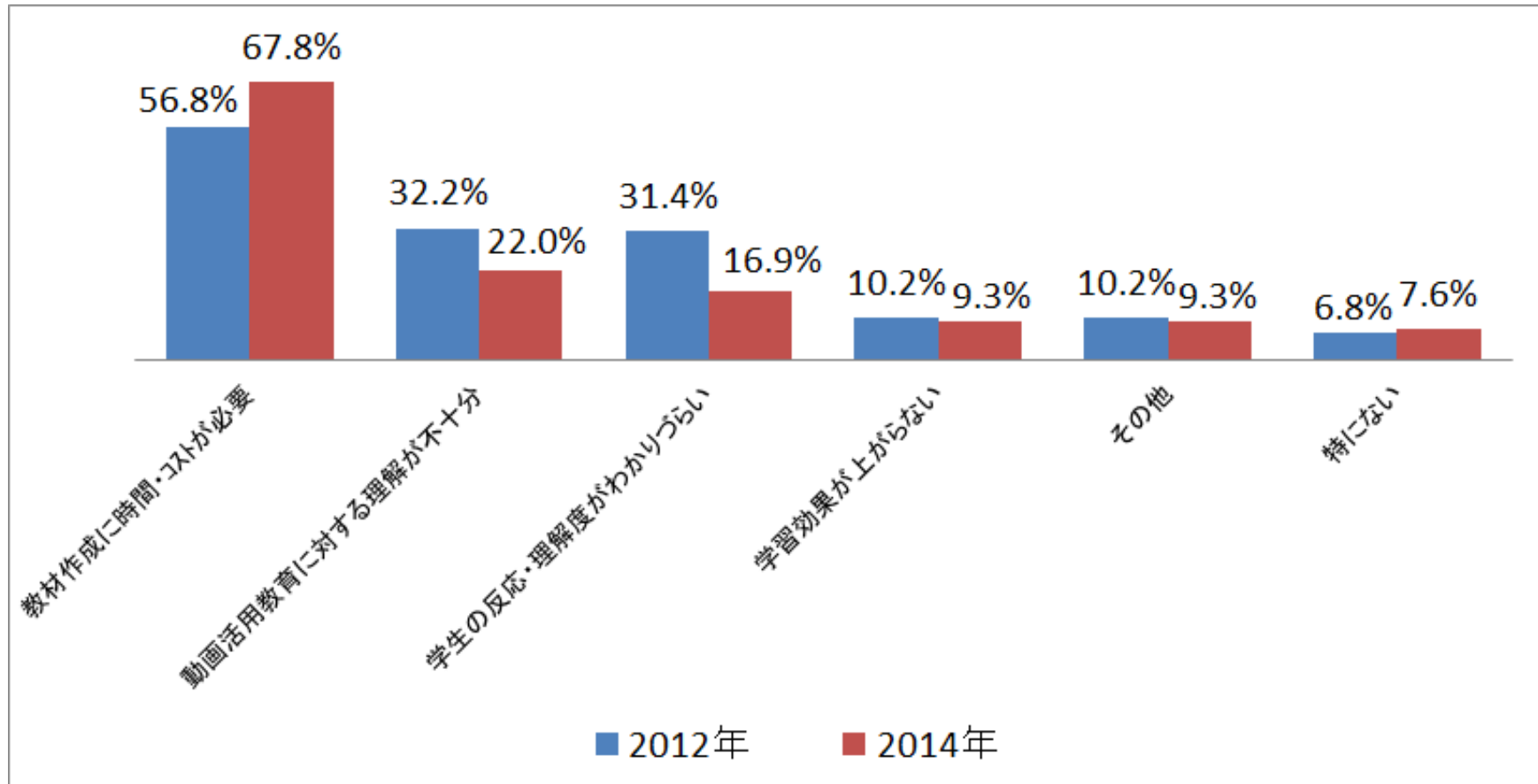
約8割が「わかり易く学習効果が高い」と評価。「学習意欲が上がる」も6割近く。

6. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のメリット 【学校別×活用経験別】



小中高・大学の“活用経験有”の人は、9割以上が「わかり易く学習効果が高い」と回答。
専門学校や予備校・学習塾では、活用経験の有無に関わらず「学習意欲が上がる」が急増。

7. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のデメリット 【時系列変化】



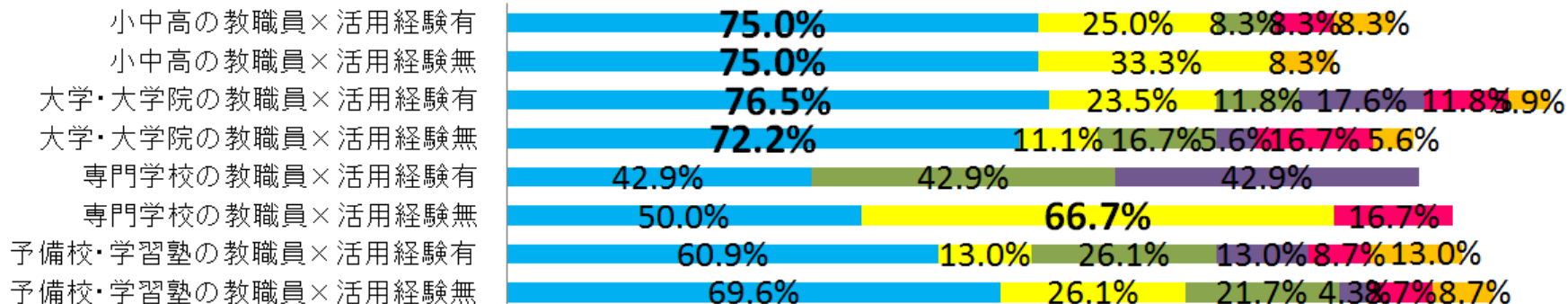
その他（2014年）・・・何回も見れるという甘えから学習効果が薄れてしまう、自身で考える力が付きにくい、学生の姿勢が受身になる、動画的に捉えてしまい学生が言葉で説明できるか不安、それだけに偏ってしまう危険性、費用、ハード面の不足、場所や機会が限られる、ペーパーテストに直結しない、教員がそれらに頼ってしまう、学生もわかったような気になってしまう、見たものが全てであるという勘違いが生じ易い、手間や経費がかかりすぎる、抽象度が欠けるため講義の質が落ちる

最大のデメリットは「教材作成にかかる時間とコスト」。「動画活用教育への理解・認識不足」「学生の反応・理解度がわかりづらい」は2012年より大きく減少。

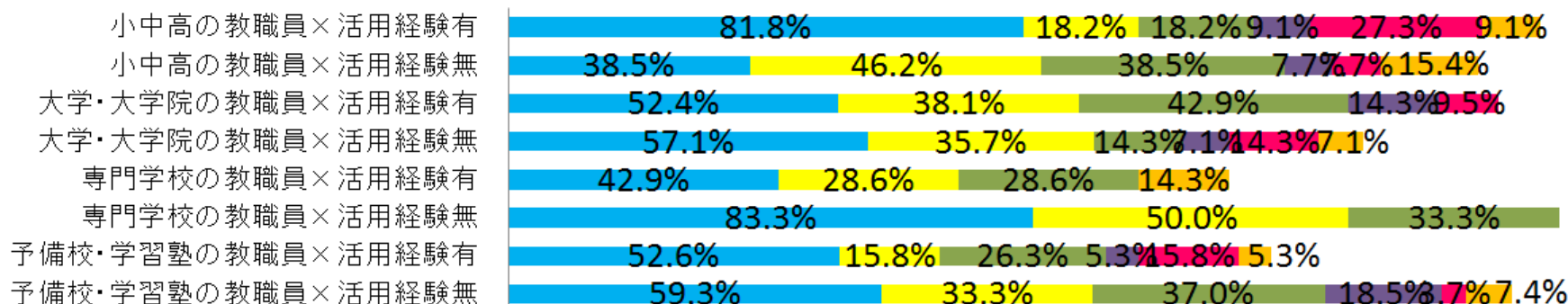
7. ビデオ教材（映像コンテンツ）教育利用のデメリット 【学校別×活用経験別】

- 教材作成に時間・コストがかかる
- 学習効果が上がらない
- 動画活用教育に対する理解が不十分
- その他
- 学生の反応・理解度がわかりづらい
- 特にない

2014年

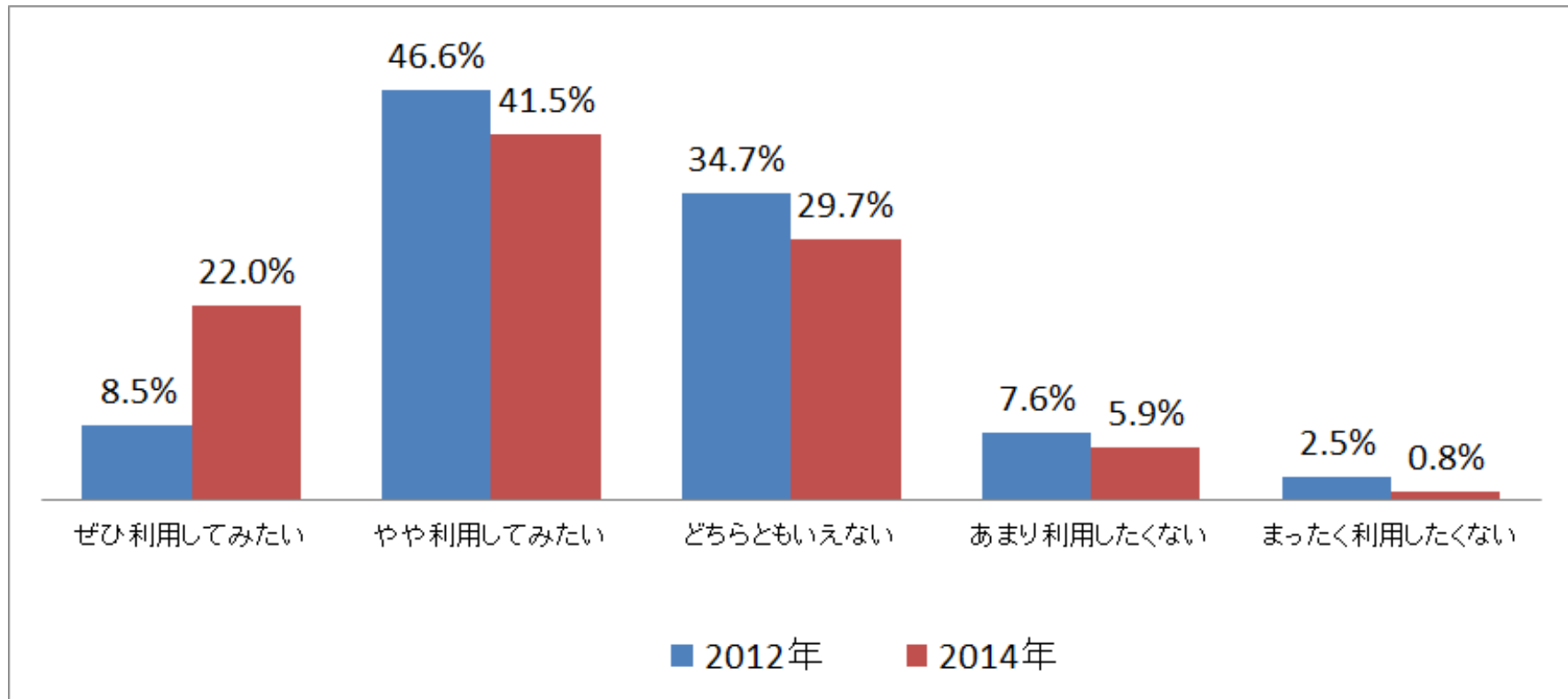


2012年



学校やこれまでの活用経験に関わらず「教材作成に時間・コストがかかる」が多い。
専門学校の“活用経験無”の人のみ、動画活用教育への理解・認識不足を指摘する人が多い。

8. 動画コンテンツサービス「iTunes U」「Youtube for Schools」の利用意欲【時系列変化】

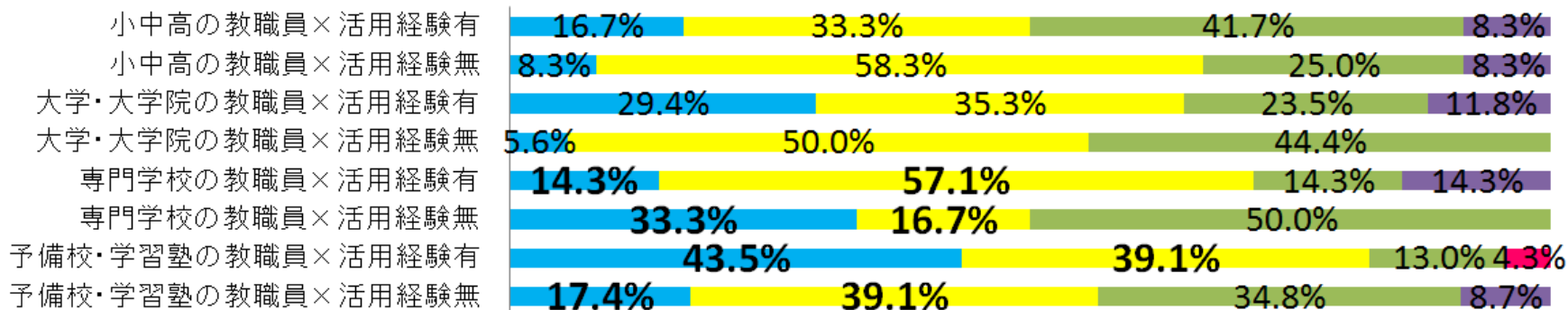


「利用してみたい」が合わせて55.1%→63.5%に増加。

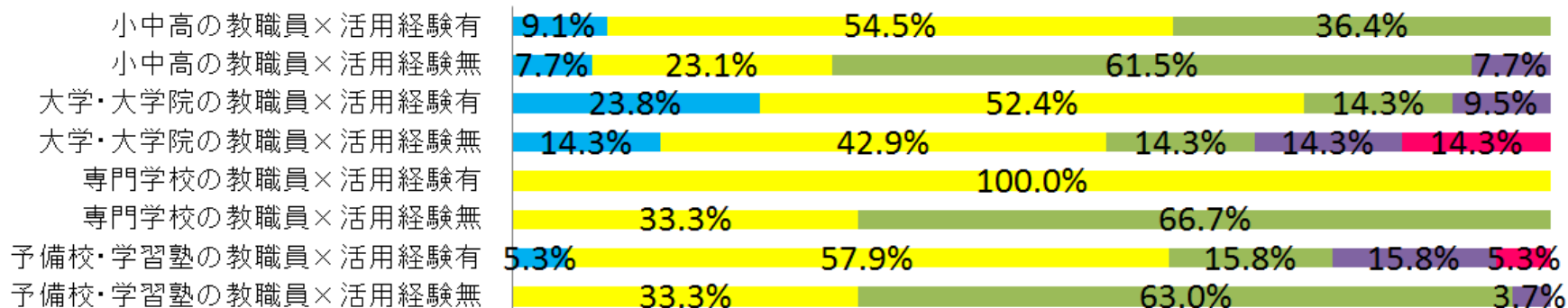
8. 動画コンテンツサービス「iTunes U」「Youtube for Schools」の利用意欲【学校別×活用経験別】

■ ぜひ利用してみたい ■ やや利用してみたい ■ どちらともいえない ■ あまり利用したくない ■ まったく利用したくない

2014年



2012年

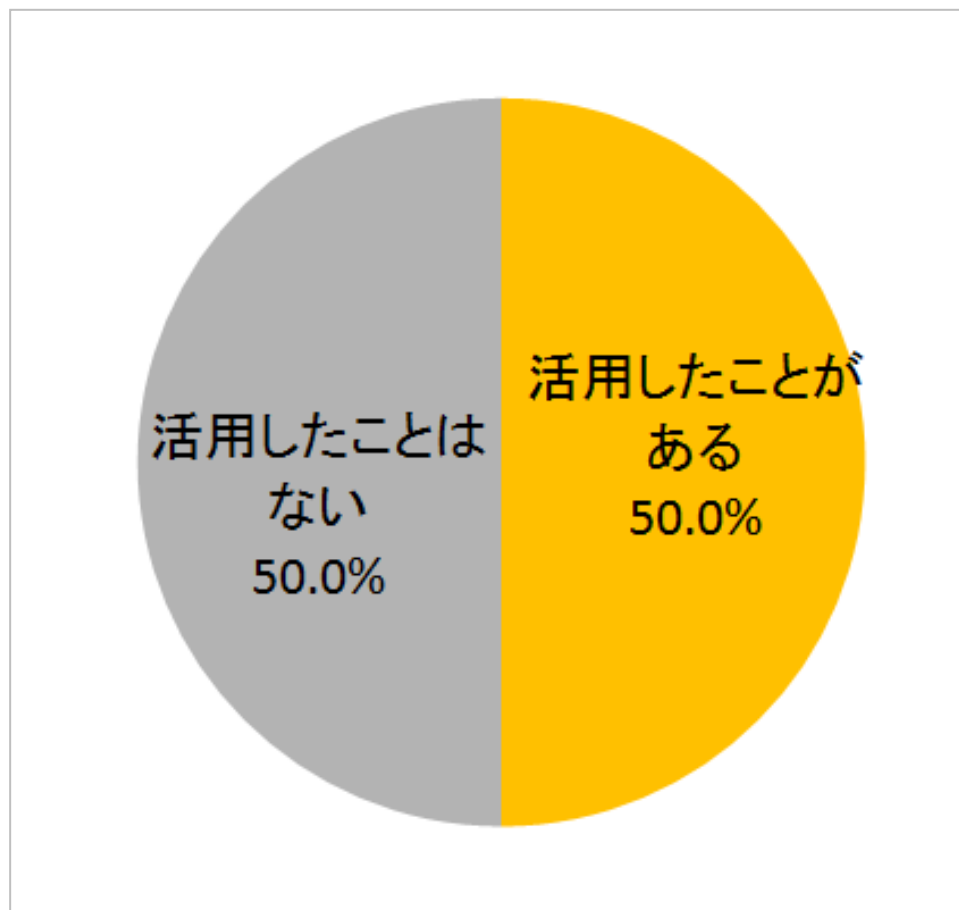


とくに専門学校、予備校・学習塾における利用意欲が高まっている。

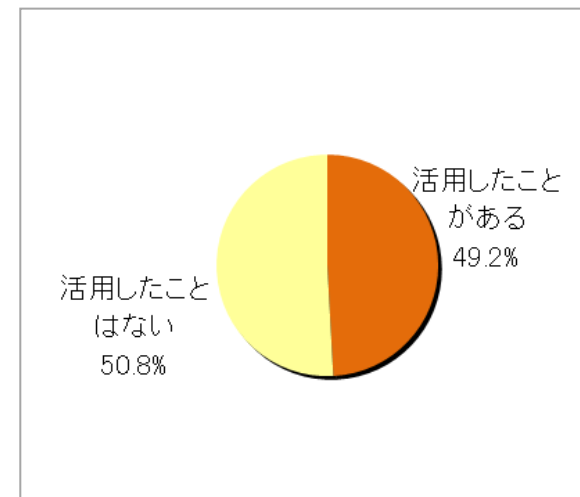
5. アンケート調査結果

G T グ ラ フ

1. 動画・映像コンテンツを教育現場で活用したことがありますか。

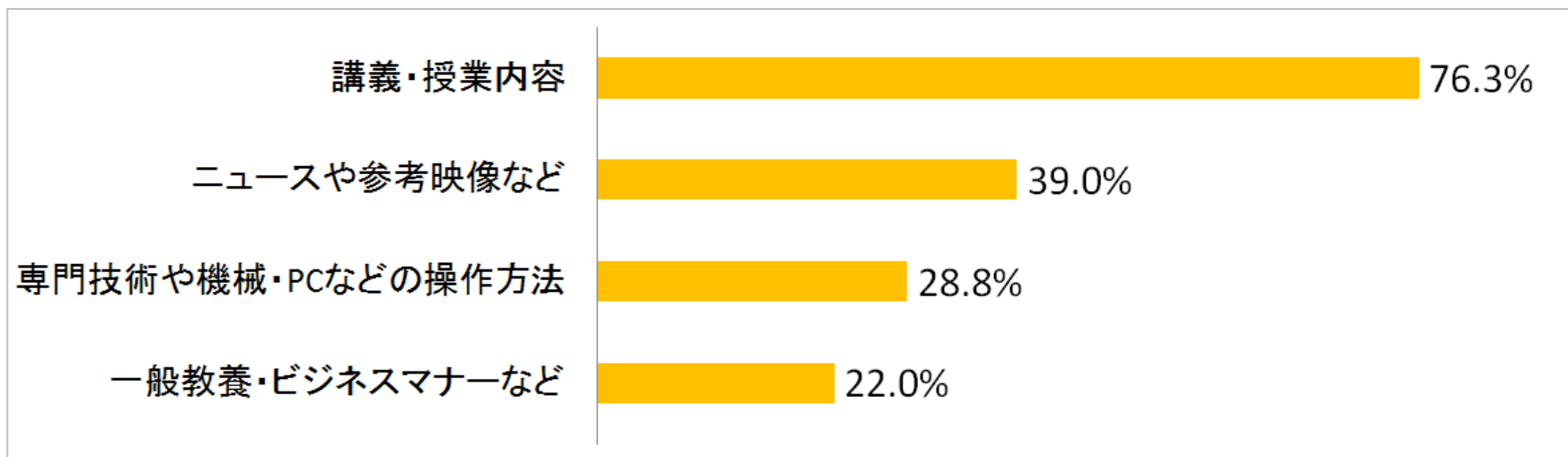


<2012年の結果>



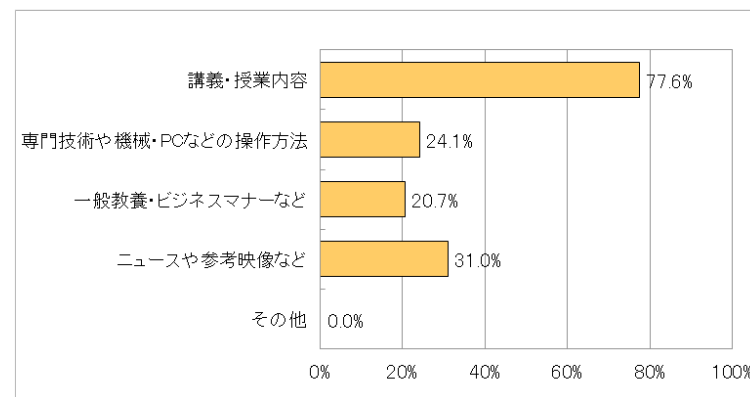
半数が教育現場で動画コンテンツを活用。

2. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。その内容をお答えください。



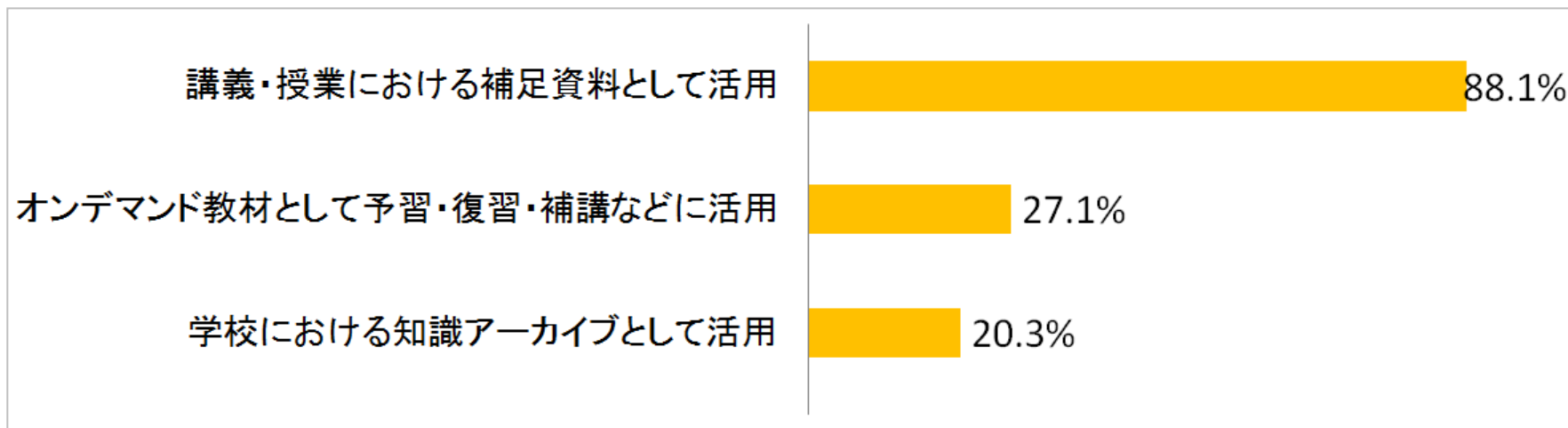
N=59

<2012年の結果>



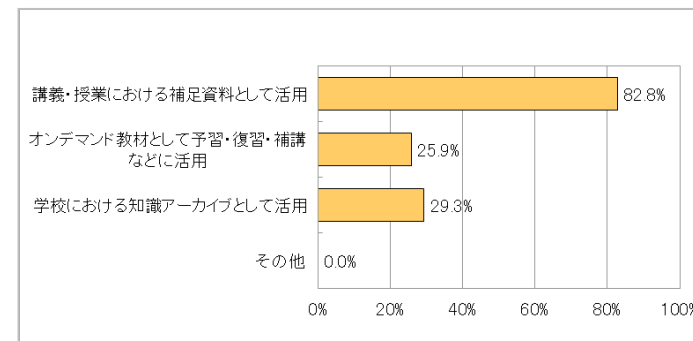
約8割が講義や授業を映像コンテンツ化し活用。
 ニュース・参考映像など既存の映像コンテンツの活用や専門技術の映像化も増加傾向。

3. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。その活用方法をお答えください。



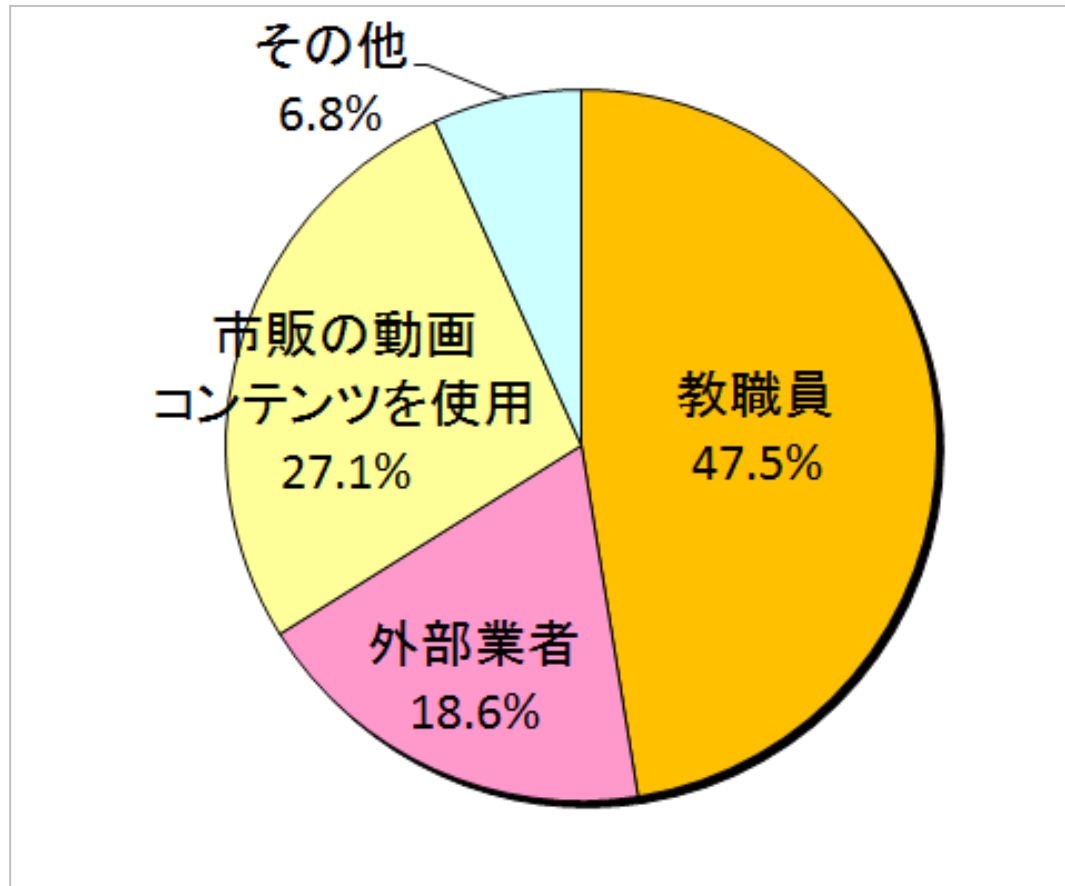
N=59

<2012年の結果>



動画コンテンツは、主に講義・授業の補足資料として活用されている。

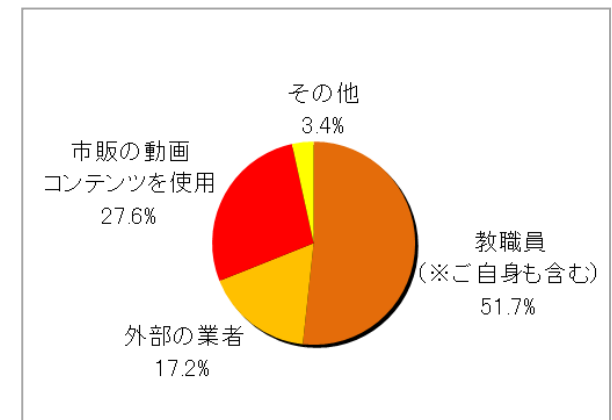
4. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。そのコンテンツを作成したのは誰ですか。



その他・・・地上波放送の録画、教務教材課、無料動画、親会社の作成

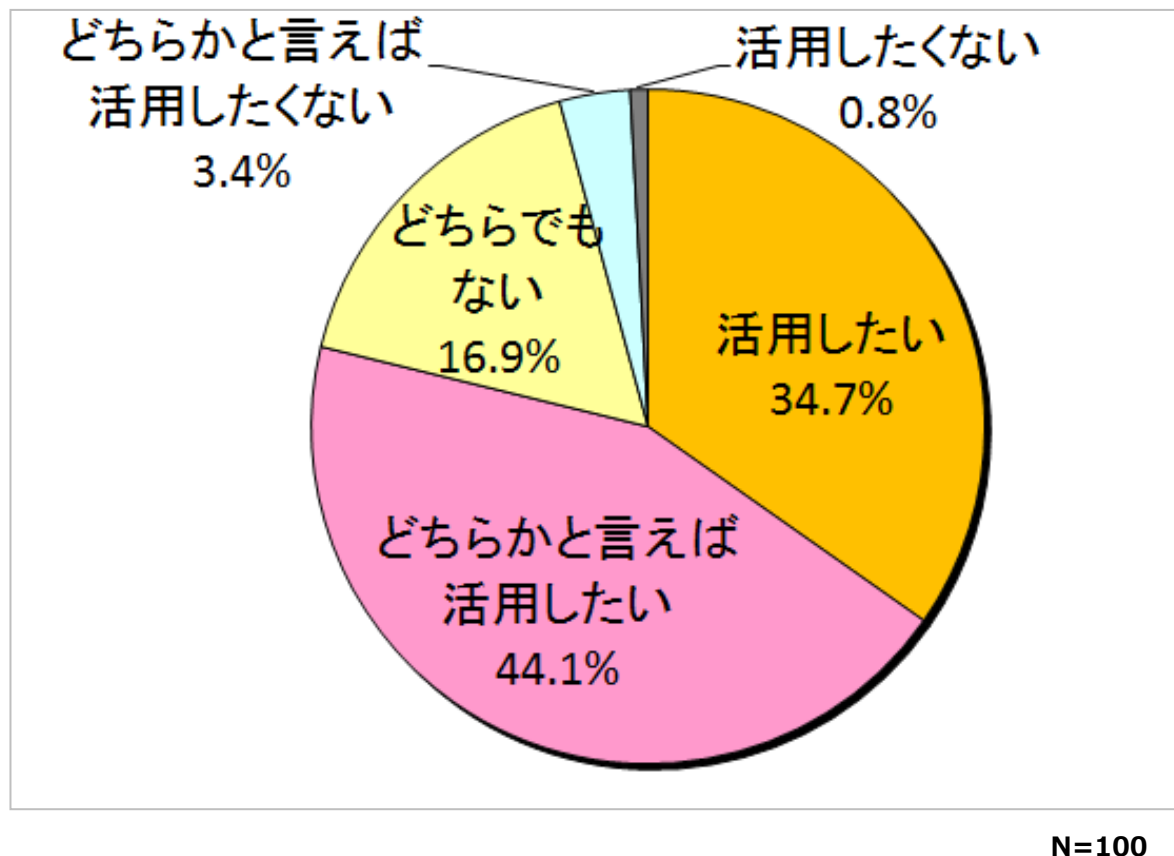
N=59

<2012年の結果>

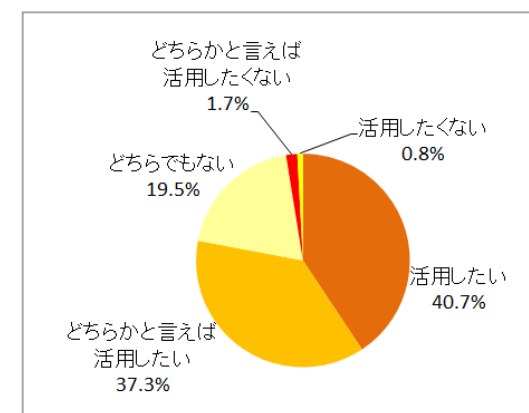


半数が教職員による内製、約3割が市販の動画コンテンツを利用。
もっともコストがかかる外部業者への依頼は2割に満たないがやや増加。

5. 今後、教育現場で動画・映像コンテンツを活用したいですか。

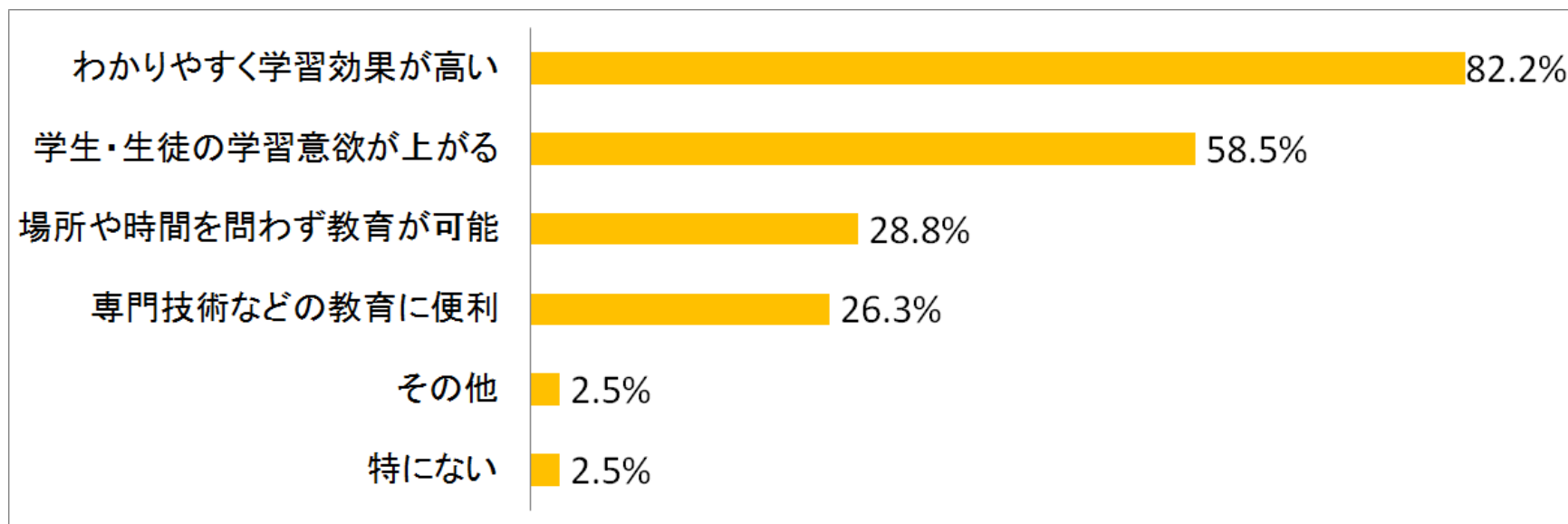


<2012年の結果>



「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」が約8割。
動画・映像コンテンツの教育利用に前向きな傾向が見られる。

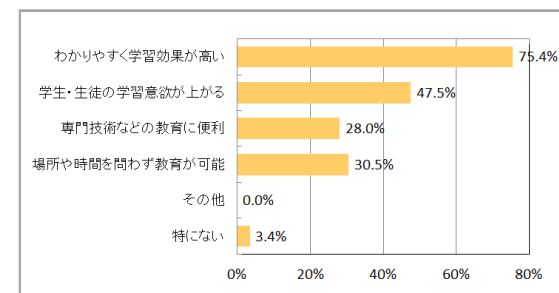
6. 動画・映像コンテンツを利用した教育・学習のメリットは何だと思えますか。



その他・・・個々のレベルに合わせることができる、英語を指導していて英語には音声は不可欠なので、見なければイメージがわからないものの把握には便利（学習効果があるかどうかは使い方次第。）

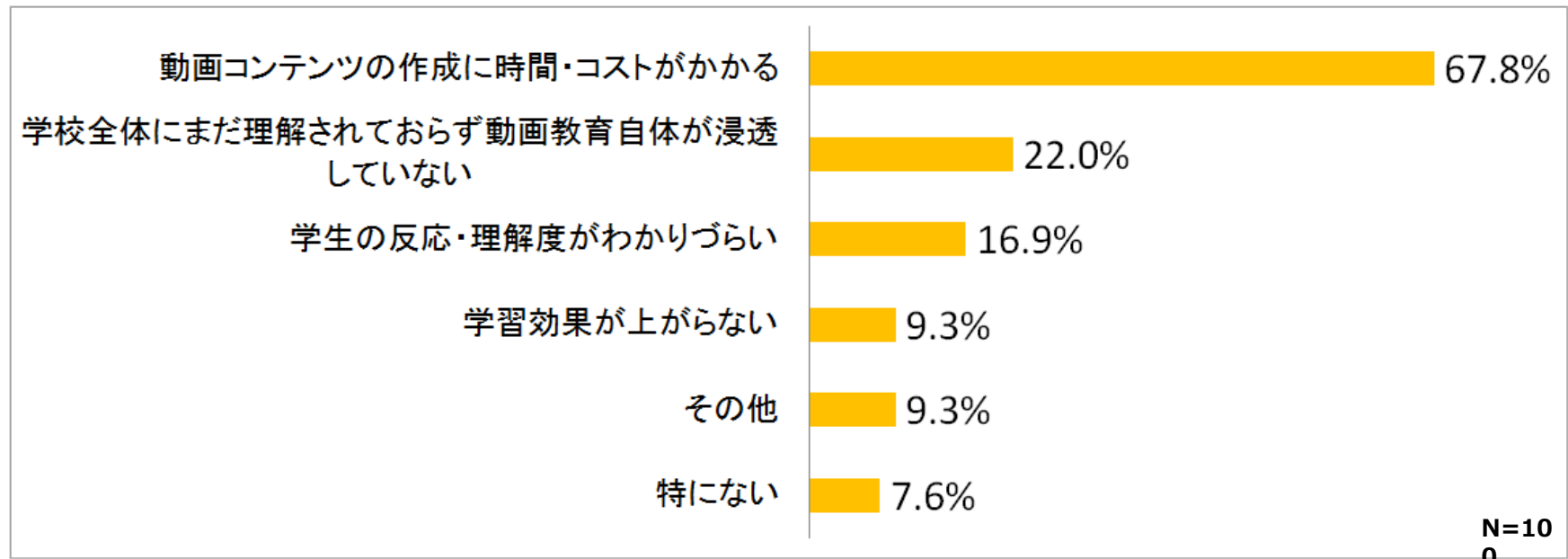
N=100

<2012年の結果>



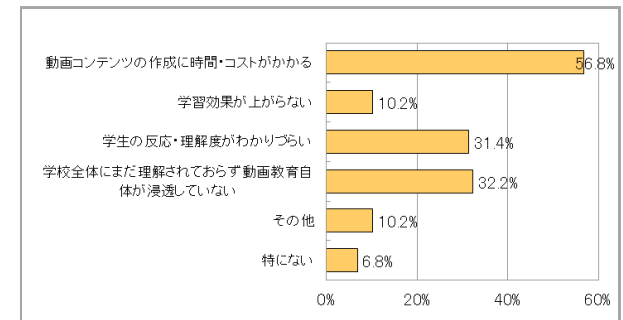
動画コンテンツは“わかりやすく”“学習意欲を上げ”“学習効果が高い”と認識されている。

7. 動画・映像コンテンツを利用した教育・学習のデメリットは何だと思いますか。



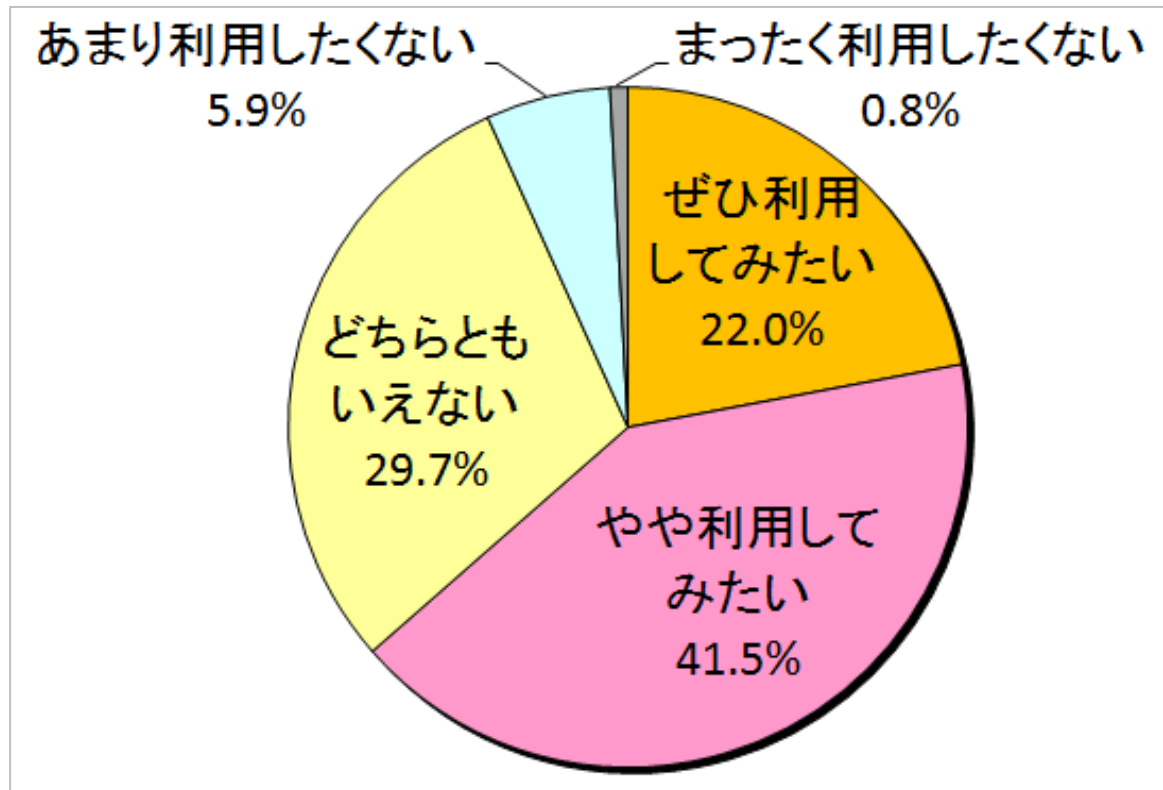
その他・・・何回も見れるという甘えから学習効果が薄れてしまう、自身で考える力が付きにくい、学生の姿勢が受身になる、動画的に捉えてしまい学生が言葉で説明できるか不安、それだけに偏ってしまう危険性、費用、ハード面の不足、場所や機会が限られる、ペーパーテストに直結しない、教員がそれらに頼ってしまう、学生もわかったような気になってしまう、見えたものが全てであるという勘違いが生じ易い、手間や経費がかかりすぎる、抽象度が欠けるため講義の質が落ちる

<2012年の結果>



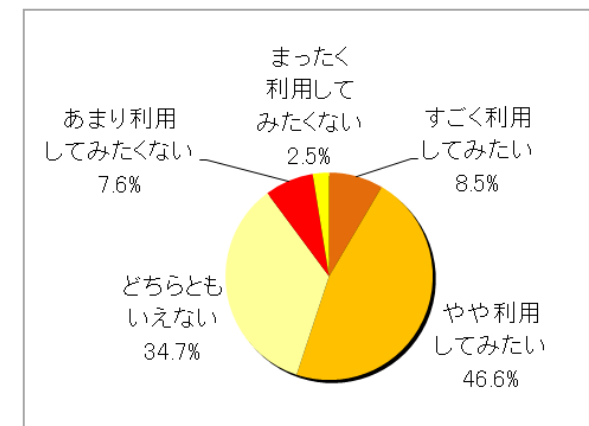
最大のデメリットは、「コンテンツ作成にかかる時間・コスト」。「動画活用教育への理解・認識不足」「学生の反応・理解度がわかりづらい」は2012年より大きく減少。

8. 「iTunes U」「Youtube for Schools」などの動画コンテンツサービスを今後利用してみたいですか。



N=100

<2012年の結果>



「利用してみたい」が合わせて55.1%→63.5%に増加。

9. 動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
コンテンツの 充実	種類が豊富で選択できるようになるとありがたい。	小中高	女性	38才
	興味がそそられるもの	小中高	女性	34才
	分野をどんどん増やしてほしい。	小中高	女性	49才
	すぐに思いつかないが、具体的なデータが欲しいときがあります。	小中高	男性	39才
	ジャンルがまだ少ないため、もっと幅広い分野の物を出して欲しい	小中高	男性	44才
	面白いもの多く出るとよい	小中高	男性	51才
	日本語教材が充実すれば利用できるケースが増すだろう	大学・大学院	男性	58才
	専門性の高いものにも対応できるかどうか疑問でもある。	大学・大学院	女性	55才
	自分の専門分野に近い映像資料が少ない	大学・大学院	男性	39才
	データを変えることでシュミレーションの映像ができるもの	大学・大学院	男性	48才
	よりグローバル化したものを発信したい	専門学校	女性	59才
	立体画像がよい	予備校・学習塾	男性	42才
	コンテンツの種類が今後増えて選択肢が増えることを期待する。	予備校・学習塾	男性	29才
	いろいろな内容を作ってもらいたい	予備校・学習塾	男性	57才
	内容の充実が大事	予備校・学習塾	男性	58才
	音楽教育の動画コンテンツを見てみたい	予備校・学習塾	男性	46才
	ケースバイケースで、場面によって使いたい。	予備校・学習塾	男性	40才
	立体的な事象を理解するような教材(例えば数学の立体図形、理科の天体の動きなど)があれば使ってみたい	予備校・学習塾	男性	51才
	わかりやすい教材を希望します。	予備校・学習塾	男性	49才
	個々の教育機関によって、必要とされるコンテンツの内容とレベルが異なるため、そのあたりの差異がなくなるような教材の提供。	予備校・学習塾	男性	38才
日本語に対応したコンテンツが少ない。	予備校・学習塾	男性	27才	

コンテンツの充実を求める声をもっとも多い（全体の18%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
利用のし易さ	誰にでも簡単にセットできる(パソコンに詳しくないし、セッティングの仕方が分からない為)ようなものや本物を見せたいと思っている。実際、現在では実物を探しに行ったり、そのことを十分に調べるような時間的な余裕はないから。	小中高	女性	53才
	手軽に使えるようになっている教材がたくさんあれば利用したい。	小中高	女性	57才
	検索しやすさを求めたい。	小中高	男性	42才
	今まで以上に使いやすいものがあるとよいと思います。	小中高	男性	55才
	わかりやすく、使いやすい	小中高	男性	54才
	検索がわかりやすくなるようジャンルできちんと分類されていると便利	専門学校	女性	35才
	国全体としてアーカイブ保存していただきたいです。	専門学校	女性	37才
	コンテンツの詳細なカテゴリ分けがあるとより利用し易くなる。大きなカテゴリ分けはされていますがもう少し下の階層までであると使い易いと思います。	大学・大学院	男性	32才
	どこにどんな動画があるのかが一目でわかるようにしてほしいです。	大学・大学院	男性	44才
	技術がなくても使えるしくみ	大学・大学院	男性	38才
	短時間の動画教材を自由に複数組み合わせたい	大学・大学院	男性	59才
	誰でも利用可能なテンプレート的なソフトの提供があれば利用してみたい	大学・大学院	男性	51才
	使いやすい、準備が簡単なものが欲しいです。	予備校・学習塾	男性	50才
	統一性などの問題があるのでデータベース等で全容が明らかになるよう願っている。	予備校・学習塾	男性	27才
	扱いやすいこと	予備校・学習塾	男性	43才

「検索のし易さ」「技術がなくても扱いやすい」など、忙しい教員にとって利用のし易さも重要課題(全体の13%)。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
コスト	ハードの導入にお金がかかるので難しい	小中高	女性	58才
	映像コンテンツは魅力的だが、どれくらいのお費用がかかるのか心配。	大学・大学院	女性	55才
	専用の端末をそろえなければならないものとコストがかかるので厳しい。	大学・大学院	男性	25才
	価格が安くなければ意味がない。	大学・大学院	男性	57才
	初期コストができるだけ安いほうがいいです。	専門学校	男性	42才
	手軽に費用かからなければ要検討。	予備校・学習塾	男性	56才
	コストを抑えてほしい。	予備校・学習塾	男性	51才
	クラウドなどを利用して、導入費用(特に初期費用)を低下させられれば導入する教育機関が増えると思う。	予備校・学習塾	男性	28才
	低コストでならやりたい。	予備校・学習塾	男性	48才
	費用は安く抑えたい	予備校・学習塾	女性	37才
	価格が下がればもっと活用できる。	予備校・学習塾	男性	40才
なるべく低コストで質の高いコンテンツを利用したい。	予備校・学習塾	男性	48才	

導入費用（初期コスト）に対する懸念も多い（全体の10%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
効果・有効性	高校数学でどれだけ使えるか	小中高	男性	39才
	デジタル教材の類の品質を保証したり認証したりするしくみが必要だと感じます。	大学・大学院	男性	50才
	事前に内容を吟味してから利用する必要があると思います。	大学・大学院	女性	40才
	活用法の例を教えてください。	予備校・学習塾	女性	52才
	動画による教育は、学生側がつい何となく分かった気になってしまいがちで、演習量や復習がおろそかにされがちになる。また教員側としては動画の内容が適切かどうか(内容が間違っているかもというのではなく、学生のレベルに合っているかどうかなど)事前の確認が必要なので、教員側は余計に手間がかかってしまう面もある。	予備校・学習塾	男性	49才
	楽しい、自然と引き込まれるといった教材では、子どもの我慢強く努力する力を養成できない。そうでなくても、動画は単位時間当たりの情報量が文字より圧倒的に少ない。面白いからやる、面白くないからやらない、というような声を許しては、学力や国力の低下を招く。	予備校・学習塾	男性	35才
	どのような効果があるのか知りたい	予備校・学習塾	女性	29才
	教育に映像を利用する場合、その効果がどのくらいあるのかが未知数である。	予備校・学習塾	男性	51才
	二次元が理解できない子を対象にしているので。使えるかどうか吟味する時間が必要。	予備校・学習塾	女性	58才
	誰でも動画を作れるので内容のチェックをきちんと検証してあること。学習した効果を自分で実感できるような(見っぱなしではなく)、機能があればいいと思う。	予備校・学習塾	女性	53才
生徒の反応が分かるような、アンケートや意見を聞く場が欲しい。	予備校・学習塾	女性	35才	

動画教材の精査や学習効果の検証が求められている（全体の9%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
環境整備	パソコンの配布	小中高	女性	45才
	この動画を導入するだけの設備投資されると良い	小中高	男性	35才
	学校現場にパソコン、タブレット等の機材がもっと豊富にあればと思う。例えば生徒1人にタブレットが無償配布される等。	小中高	男性	46才
	場所が特定される。スクリーンを使用する際は室内の明るさの調整が難しい。機器の数に限りがあり、使用者の優先順位が難しい。	小中高	女性	55才
	環境が整えば検討する	小中高	男性	52才
	今の小学校でのインターネットはフィルターがかけられており、その問題がクリアになれば使用出来ると思う。	小中高	男性	57才
	サーバのレスポンスが良好であることが望ましい(固まったりしない)	大学・大学院	男性	57才
	携帯電話やパソコンから見るようになってくると便利ですね。	大学・大学院	女性	26才
	無線LAN等を利用してここの学生の端末で活用できるようになればよい	大学・大学院	男性	59才
	いろんなネット環境に対応できること	予備校・学習塾	男性	56才

文部科学省が小中高のICT環境整備を進めているが、まだ十分ではないようだ（全体の8％）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
教員側のスキル	どう活用、使いこなしていくか。	小中高	男性	38才
	動画や映像を利用しようとする、どうしても自分で負担しなければならないことが多いので(AV機器代や映像資料代・編集作業など)、なかなか教材の種類を増やしていく	小中高	女性	27才
	教員全員が、同じスキルを持たないと現場では不公平感が生じる。	大学・大学院	男性	54才
	利用する学習者の方がこのようなコンテンツには慣れていると思うが利用させる教育者に対するアドバイスがもっとほしい。	大学・大学院	男性	51才
	教員がそのような教材の使い方の訓練を受ける場が等しく提供されないまま導入してしまうこともとても危険。ただ垂れ流しにする教員(使いました見せましたというアリバイ作り)、ぼーっと眺めて半分寝ていたり他のことをしたりする学生がたくさん出現しても不思議はない。図書などを整える経費がそちらに流れ、業者が儲かるだけ。	大学・大学院	女性	57才
	世の中の賢い人たちが日進月歩ですばらしいコンテンツを発信しているが、自分がその技術の習得に追いつけていないのが残念だと思う。	予備校・学習塾	男性	44才
自分で教材作成したい	教材はやはり自分で作った方が授業がやりやすい。授業に合わせて自由に組み替えられるし、時間配分も自由にできる。	大学・大学院	男性	57才
	自作しやすいようにテンプレートができてほしい	大学・大学院	男性	42才
	簡単に作成できるソフトがあると嬉しい。	大学・大学院	男性	41才
	他で使われているものや既存のコンテンツは使いにくい。	予備校・学習塾	男性	46才
依存性	特定のハードやソフトに依存するのは困る	専門学校	男性	58才
	頼ってばかりでは駄目です。	大学・大学院	男性	49才
	双方向な雰囲気があるものがよい	大学・大学院	女性	45才
	安易な映像化は学力低下の一因になる。節度を持ってのぞみたい。	大学・大学院	女性	59才
著作権	著作権上の制限がきつすぎて授業で利用できても自習教材としては利用できない。	大学・大学院	男性	56才
	著作権がネック。以前は自分で録画したニュース等も流していたが、今ではそれができなくて残念だ。先に見たようなアーカイブがあると便利	大学・大学院	男性	57才
	教育現場で使用する場合の著作権の緩和を検討いただきたい。	大学・大学院	男性	51才

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
その他	今後の課題として検討したいと思う。	小中高	男性	42才
	特にない	専門学校	男性	53才
	なし。	専門学校	男性	48才
	特に無し	専門学校	女性	52才
	ない	専門学校	男性	47才
	ありません。	専門学校	女性	35才
	日本ではまだこれから	大学・大学院	男性	46才
	現在は学生に教える立場にない	大学・大学院	女性	47才
	導入実績による	予備校・学習塾	男性	29才
	画質が良いことを望む。	予備校・学習塾	男性	38才
	今のところはまだありません。	予備校・学習塾	男性	50才
	消費増税で、中小の学習支援業は次々と廃業を余儀なくされている。コストのかからない手作り教材と親御さんとの信頼関係に活路を見出している ので、余計なセールスは一切受け付けないという構えである。	予備校・学習塾	男性	54才
行政の対応が信じられないほど遅い。もっと官民一体で普及に努めなければ ならない。	予備校・学習塾	男性	27才	

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
期待したい	生徒の興味や関心を高めることができ、学習の動機付けになる	小中高	男性	58才
	今後、情報収集したい。	小中高	男性	37才
	教育効果が高いのでどんどん活用したい。ただ、映像コンテンツを整理する時間より、映像コンテンツを作成するための準備に時間がかかるため、なかなかコンテンツの作成が進まない。	専門学校	男性	48才
	是非、動画映像を織り込んだ授業を今後主流にできればと思います。	専門学校	女性	42才
	公立の中・高(可能なら小学校高学年)から導入してほしい	専門学校	女性	40才
	ツールの入手が必要だが、十分な価値があると思う	大学・大学院	女性	38才
	自分で作ると時間がかかるがこのようなコンテンツは便利だと思う	大学・大学院	女性	51才
	楽しくわかりやすい教材を利用したい	大学・大学院	女性	57才
	本人確認を簡素な技術で解決すると相当広がっていくと思う	大学・大学院	男性	45才
	これから伸びる分野だと思います。	予備校・学習塾	男性	51才
	日本語版に期待したい。	予備校・学習塾	男性	50才
	予備校や学習塾ではこれから主流になっていくと思うが、標準的な基準がないので企業間で大きな差ができると思う。	予備校・学習塾	男性	53才
	コンテンツ内容によるが期待したい。	予備校・学習塾	男性	57才
	楽しさがプラスされると思う	予備校・学習塾	女性	29才
	これから主流になる可能性がある。	予備校・学習塾	男性	35才
	良い方向に活用できるようになることを期待しています。	予備校・学習塾	男性	54才
理科の実験や数学の空間図形などで利用価値があると思う。	予備校・学習塾	男性	50才	
英語の授業で活用できる映像教材がほしい	予備校・学習塾	男性	36才	
LMSのしっかりしているものなら検討の価値があると考えます。	予備校・学習塾	男性	54才	

動画教材に期待する声は多い（全体の16%）。とくに予備校・学習塾における期待値が高い。

ク ロ ス 表

1. 動画・映像コンテンツを教育現場で活用したことがありますか。

【学校別】

	全体	活用した ことがある	活用し たこと はない
全体	118	59	59
	100.0%	50.0%	50.0%
小中高	24	12	12
	100.0%	50.0%	50.0%
大学・大学院	35	17	18
	100.0%	48.6%	51.4%
専門学校	13	7	6
	100.0%	53.8%	46.2%
予備校・学習塾	46	23	23
	100.0%	50.0%	50.0%

【性別×年代別】

		全体	活用した ことがある	活用し たこと はない
全体		118	59	59
		100.0%	50.0%	50.0%
男性		84	42	42
		100.0%	50.0%	50.0%
男性	20代	7	5	2
		100.0%	71.4%	28.6%
	30代	13	5	8
		100.0%	38.5%	61.5%
40代		26	13	13
		100.0%	50.0%	50.0%
50代		38	19	19
		100.0%	50.0%	50.0%
女性		34	17	17
		100.0%	50.0%	50.0%
女性	20代	4	3	1
		100.0%	75.0%	25.0%
	30代	8	3	5
		100.0%	37.5%	62.5%
40代		7	2	5
		100.0%	28.6%	71.4%
50代		15	9	6
		100.0%	60.0%	40.0%

専門学校での活用度がやや高い。20代の活用度も高め。

2. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。その内容をお答えください。

【学校別】

	全体	授業・ 講義 内容	参 考 映 像 ・ ニ ュ ー ス ・	等 専 の 操 作 方 法 P C	ビ ジ ネ ス マ ナ ー 一 般 教 養
全体	59 100.0%	45 76.3%	23 39.0%	17 28.8%	13 22.0%
小中高	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	1 8.3%	3 25.0%
大学・大学院	17 100.0%	11 64.7%	8 47.1%	9 52.9%	5 29.4%
専門学校	7 100.0%	6 85.7%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%
予備校・学習塾	23 100.0%	21 91.3%	10 43.5%	5 21.7%	3 13.0%

専門学校や予備校・学習塾では、授業映像の活用が9割に達している。

【性別×年代別】

		全体	授業・ 講義 内容	ニュー ス・ 参 考 映 像	専 門 技 術 や P C の 操 作 方 法	一 般 教 養 ・ ビ ジ ネ ス マ ナ ー
全体		59 100.0%	45 76.3%	23 39.0%	17 28.8%	13 22.0%
男性		42 100.0%	32 76.2%	17 40.5%	14 33.3%	10 23.8%
男性	20代	5 100.0%	4 80.0%	4 80.0%	1 20.0%	1 20.0%
	30代	5 100.0%	5 100.0%	- -	2 40.0%	1 20.0%
	40代	13 100.0%	9 69.2%	8 61.5%	6 46.2%	6 46.2%
	50代	19 100.0%	14 73.7%	5 26.3%	5 26.3%	2 10.5%
女性		17 100.0%	13 76.5%	6 35.3%	3 17.6%	3 17.6%
女性	20代	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%
	30代	3 100.0%	3 100.0%	- -	- -	1 33.3%
	40代	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	- -	- -
	50代	9 100.0%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%

3. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。その活用方法をお答えください。

【学校別】

	全体	講義・授業の補足的活用として	オンラインで予復習・教材と講義に活用	学校における知識の活用
全体	59 100.0%	52 88.1%	16 27.1%	12 20.3%
小中高	12 100.0%	11 91.7%	－ －	3 25.0%
大学・大学院	17 100.0%	16 94.1%	4 23.5%	6 35.3%
専門学校	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%
予備校・学習塾	23 100.0%	21 91.3%	10 43.5%	2 8.7%

どの学校においても講義・授業の補足的活用が多い。

【性別×年代別】

		全体	活用 補足資 料として	講 義・授 業の ため として 活用	オ ンデ マ ン ド・教 補材	と知 識ア ー カ イ ブ	学 校に お け る ブ
全体		59	52	16	12		
		100.0%	88.1%	27.1%	20.3%		
男性		42	37	13	9		
		100.0%	88.1%	31.0%	21.4%		
男性	20代	5	4	3	—		
		100.0%	80.0%	60.0%	—		
	30代	5	5	2	3		
		100.0%	100.0%	40.0%	60.0%		
40代		13	12	2	5		
		100.0%	92.3%	15.4%	38.5%		
50代		19	16	6	1		
		100.0%	84.2%	31.6%	5.3%		
女性		17	15	3	3		
		100.0%	88.2%	17.6%	17.6%		
女性	20代	3	3	2	1		
		100.0%	100.0%	66.7%	33.3%		
	30代	3	2	—	1		
		100.0%	66.7%	—	33.3%		
40代		2	2	—	—		
		100.0%	100.0%	—	—		
50代		9	8	1	1		
		100.0%	88.9%	11.1%	11.1%		

4. 1で「活用したことがある」と答えた方にお聞きします。そのコンテンツを作成したのは誰ですか。

【学校別】

	全体	教職員	使用 コ市 ン販 テの ン動 ツ画 を	外部 業者	その他
全体	59 100.0%	28 47.5%	16 27.1%	11 18.6%	4 6.8%
小中高	12 100.0%	7 58.3%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%
大学・大学院	17 100.0%	8 47.1%	7 41.2%	2 11.8%	— —
専門学校	7 100.0%	5 71.4%	1 14.3%	1 14.3%	— —
予備校・学習塾	23 100.0%	8 34.8%	5 21.7%	7 30.4%	3 13.0%

その他・・・地上波放送の録画、教務教材課、無料動画、親会社の作成

専門学校では7割以上が教職員による内製。予備校・学習塾では、外部業者への依頼も目立つ。

【性別×年代別】

		全体	教職員	市販の動画 コンテンツを 使用する	外部業者	その他
全体		59 100.0%	28 47.5%	16 27.1%	11 18.6%	4 6.8%
男性		42 100.0%	20 47.6%	11 26.2%	8 19.0%	3 7.1%
男性	20代	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	— —
		5 100.0%	3 60.0%	— —	1 20.0%	1 20.0%
	40代	13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	3 23.1%	— —
		19 100.0%	10 52.6%	6 31.6%	1 5.3%	2 10.5%
女性		17 100.0%	8 47.1%	5 29.4%	3 17.6%	1 5.9%
女性	20代	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	— —	— —
		3 100.0%	2 66.7%	— —	1 33.3%	— —
	40代	2 100.0%	1 50.0%	— —	1 50.0%	— —
		9 100.0%	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%

5. 今後、教育現場で動画・映像コンテンツを活用したいですか。

【学校別×活用経験別】

		全体	活用したい	どちらかと言え	どちらでもない	い	どちらかと言え	活用したくない
全体		118	41	52	20	4	1	
		100.0%	34.7%	44.1%	16.9%	3.4%	0.8%	
小中高		24	6	16	2	-	-	
		100.0%	25.0%	66.7%	8.3%	-	-	
小中高	活用経験有	12	5	7	-	-	-	
		100.0%	41.7%	58.3%	-	-	-	
小中高	活用経験無	12	1	9	2	-	-	
		100.0%	8.3%	75.0%	16.7%	-	-	
大学・大学院		35	10	15	8	2	-	
		100.0%	28.6%	42.9%	22.9%	5.7%	-	
大学・大学院	活用経験有	17	9	6	1	1	-	
		100.0%	52.9%	35.3%	5.9%	5.9%	-	
大学・大学院	活用経験無	18	1	9	7	1	-	
		100.0%	5.6%	50.0%	38.9%	5.6%	-	
専門学校		13	4	4	5	-	-	
		100.0%	30.8%	30.8%	38.5%	-	-	
専門学校	活用経験有	7	2	3	2	-	-	
		100.0%	28.6%	42.9%	28.6%	-	-	
専門学校	活用経験無	6	2	1	3	-	-	
		100.0%	33.3%	16.7%	50.0%	-	-	
予備校・学習塾		46	21	17	5	2	1	
		100.0%	45.7%	37.0%	10.9%	4.3%	2.2%	
予備校・学習塾	活用経験有	23	14	8	-	-	1	
		100.0%	60.9%	34.8%	-	-	4.3%	
予備校・学習塾	活用経験無	23	7	9	5	2	-	
		100.0%	30.4%	39.1%	21.7%	8.7%	-	

動画コンテンツの活用経験有りの方は、無い人に比べ利用意欲が高い。

【性別×年代別】

		全体	活用したい	どちらかといえば活用したい	どちらでもない	どちらかといえは活用したくない	活用したくない
全体		118 100.0%	41 34.7%	52 44.1%	20 16.9%	4 3.4%	1 0.8%
男性		84 100.0%	33 39.3%	37 44.0%	12 14.3%	1 1.2%	1 1.2%
男性	20代	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	—	—	—
	30代	13 100.0%	3 23.1%	7 53.8%	2 15.4%	1 7.7%	—
	40代	26 100.0%	14 53.8%	9 34.6%	3 11.5%	—	—
	50代	38 100.0%	12 31.6%	18 47.4%	7 18.4%	—	1 2.6%
女性		34 100.0%	8 23.5%	15 44.1%	8 23.5%	3 8.8%	—
女性	20代	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	—	—
	30代	8 100.0%	2 25.0%	5 62.5%	1 12.5%	—	—
	40代	7 100.0%	2 28.6%	2 28.6%	3 42.9%	—	—
	50代	15 100.0%	2 13.3%	7 46.7%	3 20.0%	3 20.0%	—

男性は年代問わず「活用したい」が多く、女性は若い年代ほど活用意欲が高め。

6. 動画・映像コンテンツを利用した教育・学習のメリットは何だと思いますか。

【学校別×活用経験別】

		全体	学 習 効 果 が 高 い	学 生 ・ 生 徒 の 欲 が 上 が る	場 所 や 時 間 を 問 わ ず 教 育 が 可 能	専 門 技 術 な ど の 教 育 に 便 利	そ の 他	特 に な い
全体		118 100.0%	97 82.2%	69 58.5%	34 28.8%	31 26.3%	3 2.5%	3 2.5%
小中高		24 100.0%	21 87.5%	15 62.5%	4 16.7%	10 41.7%	-	-
小中高	活用経験有	12 100.0%	11 91.7%	8 66.7%	2 16.7%	6 50.0%	-	-
	活用経験無	12 100.0%	10 83.3%	7 58.3%	2 16.7%	4 33.3%	-	-
大学・大学院		35 100.0%	30 85.7%	18 51.4%	7 20.0%	9 25.7%	1 2.9%	1 2.9%
大学・大学院	活用経験有	17 100.0%	16 94.1%	11 64.7%	3 17.6%	4 23.5%	-	1 5.9%
	活用経験無	18 100.0%	14 77.8%	7 38.9%	4 22.2%	5 27.8%	1 5.6%	-
専門学校		13 100.0%	8 61.5%	10 76.9%	4 30.8%	4 30.8%	-	-
専門学校	活用経験有	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	2 28.6%	3 42.9%	-	-
	活用経験無	6 100.0%	3 50.0%	5 83.3%	2 33.3%	1 16.7%	-	-
予備校・学習塾		46 100.0%	38 82.6%	26 56.5%	19 41.3%	8 17.4%	2 4.3%	2 4.3%
予備校・学習塾	活用経験有	23 100.0%	21 91.3%	14 60.9%	13 56.5%	4 17.4%	2 8.7%	-
	活用経験無	23 100.0%	17 73.9%	12 52.2%	6 26.1%	4 17.4%	-	2 8.7%

小中高・大学、予備校・塾の“活用経験有”の人は、9割以上が「わかりやすく学習効果が高い」と回答。

【性別×年代別】

		全体	学 習 効 果 が 高 い	学 生 ・ 学 徒 の 意 欲 が 上 が る	問 題 や 時 間 を 取 ら ず 教 育 が 可 能	専 門 技 術 等 の 教 育 に 便 利	そ の 他	特 に な い
全体		118 100.0%	97 82.2%	69 58.5%	34 28.8%	31 26.3%	3 2.5%	3 2.5%
男性		84 100.0%	69 82.1%	52 61.9%	25 29.8%	23 27.4%	1 1.2%	1 1.2%
男性	20代	7 100.0%	7 100.0%	4 57.1%	5 71.4%	2 28.6%	— —	— —
	30代	13 100.0%	12 92.3%	8 61.5%	5 38.5%	5 38.5%	— —	— —
	40代	26 100.0%	22 84.6%	16 61.5%	8 30.8%	7 26.9%	— —	— —
	50代	38 100.0%	28 73.7%	24 63.2%	7 18.4%	9 23.7%	1 2.6%	1 2.6%
女性		34 100.0%	28 82.4%	17 50.0%	9 26.5%	8 23.5%	2 5.9%	2 5.9%
女性	20代	4 100.0%	3 75.0%	— —	1 25.0%	1 25.0%	— —	1 25.0%
	30代	8 100.0%	7 87.5%	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	— —	— —
	40代	7 100.0%	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%	— —	— —
	50代	15 100.0%	11 73.3%	9 60.0%	4 26.7%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%

性別・年代問わず「わかりやすく学習効果が高い」が多い。

7. 動画・映像コンテンツを利用した教育・学習のデメリットは何だと思いますか。

【学校別×活用経験別】

		全体	動画・コンテンツが作成するに	学校全体にまだ理解されない	学生の反応・理解度が	学習効果が上がらない	その他	特にな
全体		118 100.0%	80 67.8%	26 22.0%	20 16.9%	11 9.3%	11 9.3%	9 7.6%
小中高		24 100.0%	18 75.0%	7 29.2%	1 4.2%	-	1 4.2%	2 8.3%
小中高	活用経験有	12 100.0%	9 75.0%	3 25.0%	1 8.3%	-	1 8.3%	1 8.3%
	活用経験無	12 100.0%	9 75.0%	4 33.3%	-	-	-	1 8.3%
大学・大学院		35 100.0%	26 74.3%	6 17.1%	5 14.3%	4 11.4%	5 14.3%	2 5.7%
大学・大学院	活用経験有	17 100.0%	13 76.5%	4 23.5%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%
	活用経験無	18 100.0%	13 72.2%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%
専門学校		13 100.0%	6 46.2%	4 30.8%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	-
専門学校	活用経験有	7 100.0%	3 42.9%	-	3 42.9%	3 42.9%	-	-
	活用経験無	6 100.0%	3 50.0%	4 66.7%	-	-	1 16.7%	-
予備校・学習塾		46 100.0%	30 65.2%	9 19.6%	11 23.9%	4 8.7%	4 8.7%	5 10.9%
予備校・学習塾	活用経験有	23 100.0%	14 60.9%	3 13.0%	6 26.1%	3 13.0%	2 8.7%	3 13.0%
	活用経験無	23 100.0%	16 69.6%	6 26.1%	5 21.7%	1 4.3%	2 8.7%	2 8.7%

学校・活用経験の有無を問わず、「コンテンツ作成にかかる時間・コスト」が多い。

【性別×年代別】

		全体	が作成にかかる時間・コストが多い	ない	育自	さ学校全体にまだ理解	が学生の反応・理解度がわかりづらい	い学習効果が上がらない	その他	特にな
全体		118 100.0%	80 67.8%	26 22.0%	20 16.9%	11 9.3%	11 9.3%	9 7.6%		
男性		84 100.0%	59 70.2%	17 20.2%	12 14.3%	6 7.1%	9 10.7%	7 8.3%		
男性	20代	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	2 28.6%	-	1 14.3%	-		
	30代	13 100.0%	9 69.2%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%	-	1 7.7%		
	40代	26 100.0%	20 76.9%	4 15.4%	1 3.8%	-	5 19.2%	2 7.7%		
	50代	38 100.0%	25 65.8%	10 26.3%	6 15.8%	5 13.2%	3 7.9%	4 10.5%		
女性		34 100.0%	21 61.8%	9 26.5%	8 23.5%	5 14.7%	2 5.9%	2 5.9%		
女性	20代	4 100.0%	2 50.0%	-	2 50.0%	1 25.0%	-	-		
	30代	8 100.0%	6 75.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	-	1 12.5%		
	40代	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	-	-		
	50代	15 100.0%	8 53.3%	4 26.7%	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%		

性別・年代を問わず、「コンテンツ作成にかかる時間・コスト」が多い。

8. 「iTunes U」「Youtube for Schools」などの動画コンテンツサービスを今後利用してみたいですか。

【学校別×活用経験別】

		全体	利用してみたい	やや利用してみたい	どちらともいえない	あまり利用したくない	まったく利用したくない
全体		118 100.0%	26 22.0%	49 41.5%	35 29.7%	7 5.9%	1 0.8%
小中高		24 100.0%	3 12.5%	11 45.8%	8 33.3%	2 8.3%	-
小中高	活用経験有	12 100.0%	2 16.7%	4 33.3%	5 41.7%	1 8.3%	-
	活用経験無	12 100.0%	1 8.3%	7 58.3%	3 25.0%	1 8.3%	-
大学・大学院		35 100.0%	6 17.1%	15 42.9%	12 34.3%	2 5.7%	-
大学・大学院	活用経験有	17 100.0%	5 29.4%	6 35.3%	4 23.5%	2 11.8%	-
	活用経験無	18 100.0%	1 5.6%	9 50.0%	8 44.4%	-	-
専門学校		13 100.0%	3 23.1%	5 38.5%	4 30.8%	1 7.7%	-
専門学校	活用経験有	7 100.0%	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	-
	活用経験無	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%	-	-
予備校・学習塾		46 100.0%	14 30.4%	18 39.1%	11 23.9%	2 4.3%	1 2.2%
予備校・学習塾	活用経験有	23 100.0%	10 43.5%	9 39.1%	3 13.0%	-	1 4.3%
	活用経験無	23 100.0%	4 17.4%	9 39.1%	8 34.8%	2 8.7%	-

専門学校・予備校・塾での活用意欲が高い。

【性別×年代別】

		全体	利用してみたい	利用してみたい	どちらとも いえない	あまり 利用したくない	まったく 利用したくない
全体		118 100.0%	26 22.0%	49 41.5%	35 29.7%	7 5.9%	1 0.8%
男性		84 100.0%	19 22.6%	32 38.1%	26 31.0%	6 7.1%	1 1.2%
男性	20代	7 100.0%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	—
	30代	13 100.0%	1 7.7%	6 46.2%	5 38.5%	1 7.7%	—
	40代	26 100.0%	6 23.1%	11 42.3%	8 30.8%	1 3.8%	—
	50代	38 100.0%	8 21.1%	14 36.8%	12 31.6%	3 7.9%	1 2.6%
女性		34 100.0%	7 20.6%	17 50.0%	9 26.5%	1 2.9%	—
女性	20代	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	—	—	—
	30代	8 100.0%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%	—	—
	40代	7 100.0%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	—	—
	50代	15 100.0%	1 6.7%	8 53.3%	5 33.3%	1 6.7%	—

9. 動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
コンテンツの 充実	種類が豊富で選択できるようになるとありがたい。	小中高	女性	38才
	興味がそそられるもの	小中高	女性	34才
	分野をどんどん増やしてほしい。	小中高	女性	49才
	すぐに思いつかないが、具体的なデータが欲しいときがあります。	小中高	男性	39才
	ジャンルがまだ少ないため、もっと幅広い分野の物を出して欲しい	小中高	男性	44才
	面白いもの多く出るとよい	小中高	男性	51才
	日本語教材が充実すれば利用できるケースが増すだろう	大学・大学院	男性	58才
	専門性の高いものにも対応できるかどうか疑問でもある。	大学・大学院	女性	55才
	自分の専門分野に近い映像資料が少ない	大学・大学院	男性	39才
	データを変えることでシュミレーションの映像ができるもの	大学・大学院	男性	48才
	よりグローバル化したものを発信したい	専門学校	女性	59才
	立体画像がよい	予備校・学習塾	男性	42才
	コンテンツの種類が今後増えて選択肢が増えることを期待する。	予備校・学習塾	男性	29才
	いろいろな内容を作ってもらいたい	予備校・学習塾	男性	57才
	内容の充実が大事	予備校・学習塾	男性	58才
	音楽教育の動画コンテンツを見たい	予備校・学習塾	男性	46才
	ケースバイケースで、場面によって使いたい。	予備校・学習塾	男性	40才
	立体的な事象を理解するような教材(例えば数学の立体図形、理科の天体の動きなど)があれば使ってみたい	予備校・学習塾	男性	51才
	わかりやすい教材を希望します。	予備校・学習塾	男性	49才
	個々の教育機関によって、必要とされるコンテンツの内容とレベルが異なるため、そのあたりの差異がなくなるような教材の提供。	予備校・学習塾	男性	38才
日本語に対応したコンテンツが少ない。	予備校・学習塾	男性	27才	

コンテンツの充実を求める声をもっとも多い（全体の18%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
利用のし易さ	誰にでも簡単にセットできる(パソコンに詳しくないし、セッティングの仕方が分からない為)ようなものや本物を見せたいと思っている。実際、現在では実物を探しに行ったり、そのことを十分に調べるような時間的な余裕はないから。	小中高	女性	53才
	手軽に使えるようになっている教材がたくさんあれば利用したい。	小中高	女性	57才
	検索しやすさを求めたい。	小中高	男性	42才
	今まで以上に使いやすいものがあるとよいと思います。	小中高	男性	55才
	わかりやすく、使いやすい	小中高	男性	54才
	検索がわかりやすくなるようジャンルできちんと分類されていると便利	専門学校	女性	35才
	国全体としてアーカイブ保存していただきたいです。	専門学校	女性	37才
	コンテンツの詳細なカテゴリ分けがあるとより利用し易くなる。大きなカテゴリ分けはされていますがもう少し下の階層までであると使い易いと思います。	大学・大学院	男性	32才
	どこにどんな動画があるのかが一目でわかるようにしてほしいです。	大学・大学院	男性	44才
	技術がなくても使えるしくみ	大学・大学院	男性	38才
	短時間の動画教材を自由に複数組み合わせたい	大学・大学院	男性	59才
	誰でも利用可能なテンプレート的なソフトの提供があれば利用してみたい	大学・大学院	男性	51才
	使いやすい、準備が簡単なものが欲しいです。	予備校・学習塾	男性	50才
	統一性などの問題があるのでデータベース等で全容が明らかになるようお願いしている。	予備校・学習塾	男性	27才
	扱いやすいこと	予備校・学習塾	男性	43才

「検索のし易さ」「技術がなくても扱いやすい」など、忙しい教員にとって利用のし易さも重要課題(全体の13%)。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
コスト	ハードの導入にお金がかかるので難しい	小中高	女性	58才
	映像コンテンツは魅力的だが、どれくらいのお費用がかかるのか心配。	大学・大学院	女性	55才
	専用の端末をそろえなければならないものとコストがかかるので厳しい。	大学・大学院	男性	25才
	価格が安くなければ意味がない。	大学・大学院	男性	57才
	初期コストができるだけ安いほうがいいです。	専門学校	男性	42才
	手軽に費用かからなければ要検討。	予備校・学習塾	男性	56才
	コストを抑えてほしい。	予備校・学習塾	男性	51才
	クラウドなどを利用して、導入費用(特に初期費用)を低下させられれば導入する教育機関が増えると思う。	予備校・学習塾	男性	28才
	低コストでならやりたい。	予備校・学習塾	男性	48才
	費用は安く抑えたい	予備校・学習塾	女性	37才
	価格が下がればもっと活用できる。	予備校・学習塾	男性	40才
なるべく低コストで質の高いコンテンツを利用したい。	予備校・学習塾	男性	48才	

導入費用（初期コスト）に対する懸念も多い（全体の10%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
効果・有効性	高校数学でどれだけ使えるか	小中高	男性	39才
	デジタル教材の類の品質を保証したり認証したりするしくみが必要だと感じます。	大学・大学院	男性	50才
	事前に内容を吟味してから利用する必要があると思います。	大学・大学院	女性	40才
	活用法の例を教えてください。	予備校・学習塾	女性	52才
	動画による教育は、学生側がつい何となく分かった気になってしまいがちで、演習量や復習がおろそかにされがちになる。また教員側としては動画の内容が適切かどうか(内容が間違っているかもというのではなく、学生のレベルに合っているかどうかなど)事前の確認が必要なので、教員側は余計に手間がかかってしまう面もある。	予備校・学習塾	男性	49才
	楽しい、自然と引き込まれるといった教材では、子どもの我慢強く努力する力を養成できない。そうでなくても、動画は単位時間当たりの情報量が文字より圧倒的に少ない。面白いからやる、面白くないからやらない、というような声を許しては、学力や国力の低下を招く。	予備校・学習塾	男性	35才
	どのような効果があるのか知りたい	予備校・学習塾	女性	29才
	教育に映像を利用する場合、その効果がどのくらいあるのかが未知数である。	予備校・学習塾	男性	51才
	二次元が理解できない子を対象にしているので。使えるかどうか吟味する時間が必要。	予備校・学習塾	女性	58才
	誰でも動画を作れるので内容のチェックをきちんと検証してあること。学習した効果を自分で実感できるような(見っぱなしではなく)、機能があればいいと思う。	予備校・学習塾	女性	53才
生徒の反応が分かるような、アンケートや意見を聞く場が欲しい。	予備校・学習塾	女性	35才	

動画教材の精査や学習効果の検証が求められている（全体の9%）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
環境整備	パソコンの配布	小中高	女性	45才
	この動画を導入するだけの設備投資されると良い	小中高	男性	35才
	学校現場にパソコン、タブレット等の機材がもっと豊富にあればと思う。例えば生徒1人にタブレットが無償配布される等。	小中高	男性	46才
	場所が特定される。スクリーンを使用する際は室内の明るさの調整が難しい。機器の数に限りがあり、使用者の優先順位が難しい。	小中高	女性	55才
	環境が整えば検討する	小中高	男性	52才
	今の小学校でのインターネットはフィルターがかけられており、その問題がクリアになれば使用出来ると思う。	小中高	男性	57才
	サーバのレスポンスが良好であることが望ましい(固まったりしない)	大学・大学院	男性	57才
	携帯電話やパソコンから見る事が出来るようになると便利ですね。	大学・大学院	女性	26才
	無線LAN等を利用してここの学生の端末で活用できるようになればよい	大学・大学院	男性	59才
	いろんなネット環境に対応できること	予備校・学習塾	男性	56才

文部科学省が小中高のICT環境整備を進めているが、まだ十分ではないようだ（全体の8％）。

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
教員側のスキル	どう活用、使いこなしていくか。	小中高	男性	38才
	動画や映像を利用しようとする、どうしても自分で負担しなければならないことが多いので(AV機器代や映像資料代・編集作業など)、なかなか教材の種類を増やしにくい	小中高	女性	27才
	教員全員が、同じスキルを持たないと現場では不公平感が生じる。	大学・大学院	男性	54才
	利用する学習者の方がこのようなコンテンツには慣れていると思うが利用させる教育者に対するアドバイスがもっとほしい。	大学・大学院	男性	51才
	教員がそのような教材の使い方の訓練を受ける場が等しく提供されないまま導入してしまうこともとても危険。ただ垂れ流しにする教員(使いました見せましたというアリバイ作り)、ぼーっと眺めて半分寝ていたり他のことをしたりする学生がたくさん出現しても不思議はない。図書などを整える経費がそちらに流れ、業者が儲かるだけ。	大学・大学院	女性	57才
	世の中の賢い人たちが日進月歩ですばらしいコンテンツを発信しているが、自分がその技術の習得に追いつけていないのが残念だと思う。	予備校・学習塾	男性	44才
自分で教材作成したい	教材はやはり自分で作った方が授業がやりやすい。授業に合わせて自由に組み替えられるし、時間配分も自由にできる。	大学・大学院	男性	57才
	自作しやすいようにテンプレートができてほしい	大学・大学院	男性	42才
	簡単に作成できるソフトがあると嬉しい。	大学・大学院	男性	41才
	他で使われているものや既存のコンテンツは使いにくい。	予備校・学習塾	男性	46才
依存性	特定のハードやソフトに依存するのは困る	専門学校	男性	58才
	頼ってばかりでは駄目です。	大学・大学院	男性	49才
	双方向な雰囲気があるものがよい	大学・大学院	女性	45才
	安易な映像化は学力低下の一因になる。節度を持ってのぞみたい。	大学・大学院	女性	59才
著作権	著作権上の制限がきつすぎて授業で利用できても自習教材としては利用できない。	大学・大学院	男性	56才
	著作権がネック。以前は自分で録画したニュース等も流していたが、今ではそれができなくて残念だ。先に見たようなアーカイブがあると便利	大学・大学院	男性	57才
	教育現場で使用する場合の著作権の緩和を検討いただきたい。	大学・大学院	男性	51才

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
その他	今後の課題として検討したいと思う。	小中高	男性	42才
	特にない	専門学校	男性	53才
	なし。	専門学校	男性	48才
	特に無し	専門学校	女性	52才
	ない	専門学校	男性	47才
	ありません。	専門学校	女性	35才
	日本ではまだこれから	大学・大学院	男性	46才
	現在は学生に教える立場にない	大学・大学院	女性	47才
	導入実績による	予備校・学習塾	男性	29才
	画質が良いことを望む。	予備校・学習塾	男性	38才
	今のところはまだありません。	予備校・学習塾	男性	50才
	消費増税で、中小の学習支援業は次々と廃業を余儀なくされている。コストのかからない手作り教材と親御さんとの信頼関係に活路を見出している ので、余計なセールスは一切受け付けないという構えである。	予備校・学習塾	男性	54才
行政の対応が信じられないほど遅い。もっと官民一体で普及に努めなければ ならない。	予備校・学習塾	男性	27才	

ご意見・ご要望		回答者属性		
		学校	性別	年齢
期待したい	生徒の興味や関心を高めることができ、学習の動機付けになる	小中高	男性	58才
	今後、情報収集したい。	小中高	男性	37才
	教育効果が高いのでどんどん活用したい。ただ、映像コンテンツを整理する時間より、映像コンテンツを作成するための準備に時間がかかるため、なかなかコンテンツの作成が進まない。	専門学校	男性	48才
	是非、動画映像を織り込んだ授業を今後主流にできればと思います。	専門学校	女性	42才
	公立の中・高(可能なら小学校高学年)から導入してほしい	専門学校	女性	40才
	ツールの入手が必要だが、十分な価値があると思う	大学・大学院	女性	38才
	自分で作ると時間がかかるがこのようなコンテンツは便利だと思う	大学・大学院	女性	51才
	楽しくわかりやすい教材を利用したい	大学・大学院	女性	57才
	本人確認を簡素な技術で解決すると相当広がっていくと思う	大学・大学院	男性	45才
	これから伸びる分野だと思います。	予備校・学習塾	男性	51才
	日本語版に期待したい。	予備校・学習塾	男性	50才
	予備校や学習塾ではこれから主流になっていくと思うが、標準的な基準がないので企業間で大きな差ができると思う。	予備校・学習塾	男性	53才
	コンテンツ内容によるが期待したい。	予備校・学習塾	男性	57才
	楽しさがプラスされると思う	予備校・学習塾	女性	29才
	これから主流になる可能性がある。	予備校・学習塾	男性	35才
	良い方向に活用できるようになることを期待しています。	予備校・学習塾	男性	54才
理科の実験や数学の空間図形などで利用価値があると思う。	予備校・学習塾	男性	50才	
英語の授業で活用できる映像教材がほしい	予備校・学習塾	男性	36才	
LMSのしっかりしているものなら検討の価値があると考えます。	予備校・学習塾	男性	54才	

動画教材に期待する声は多い（全体の16%）。とくに予備校・学習塾における期待値が高い。

ビデオ教材（映像コンテンツ）の教育利用に関する定点調査報告書〈2014年〉

2014年10月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>